

# 2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社エプロン 証券コード: 2311 2023年8月9日 (水)

CHALLENGE TO EVOLUTION

脱炭素 × 建築 DX

**私たちは、住まい・暮らし・地球環境をDX技術で支えます。**

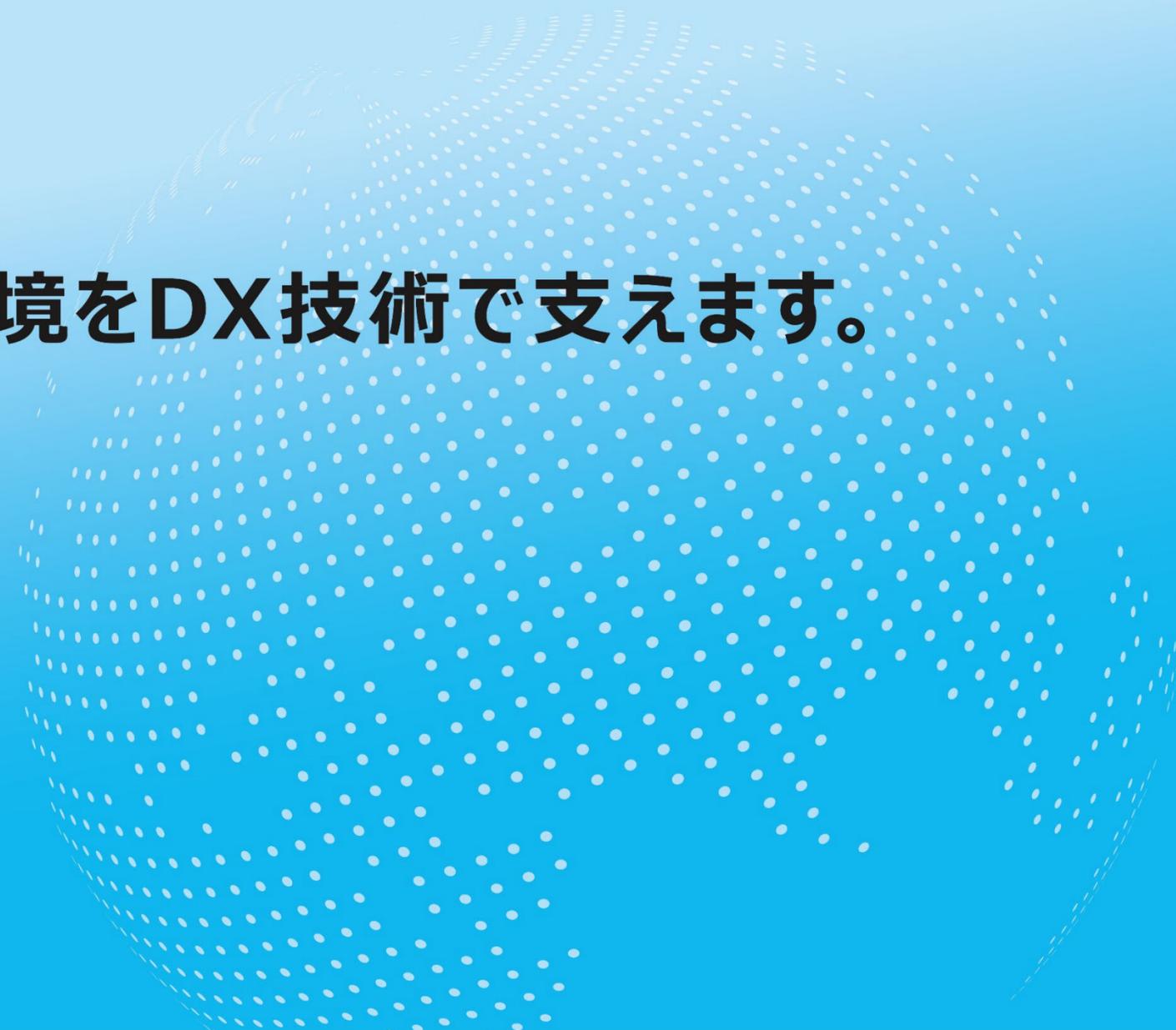
PURPOSE

# HCDs

HOUSING

CARBON NEUTRALITY

DIGITAL SOLUTIONS



## 01. カンパニーハイライト

02. 2023年12月期 第2四半期実績及び通期業績予想

03. スタндарт市場への選択申請及び資本コスト経営の実現

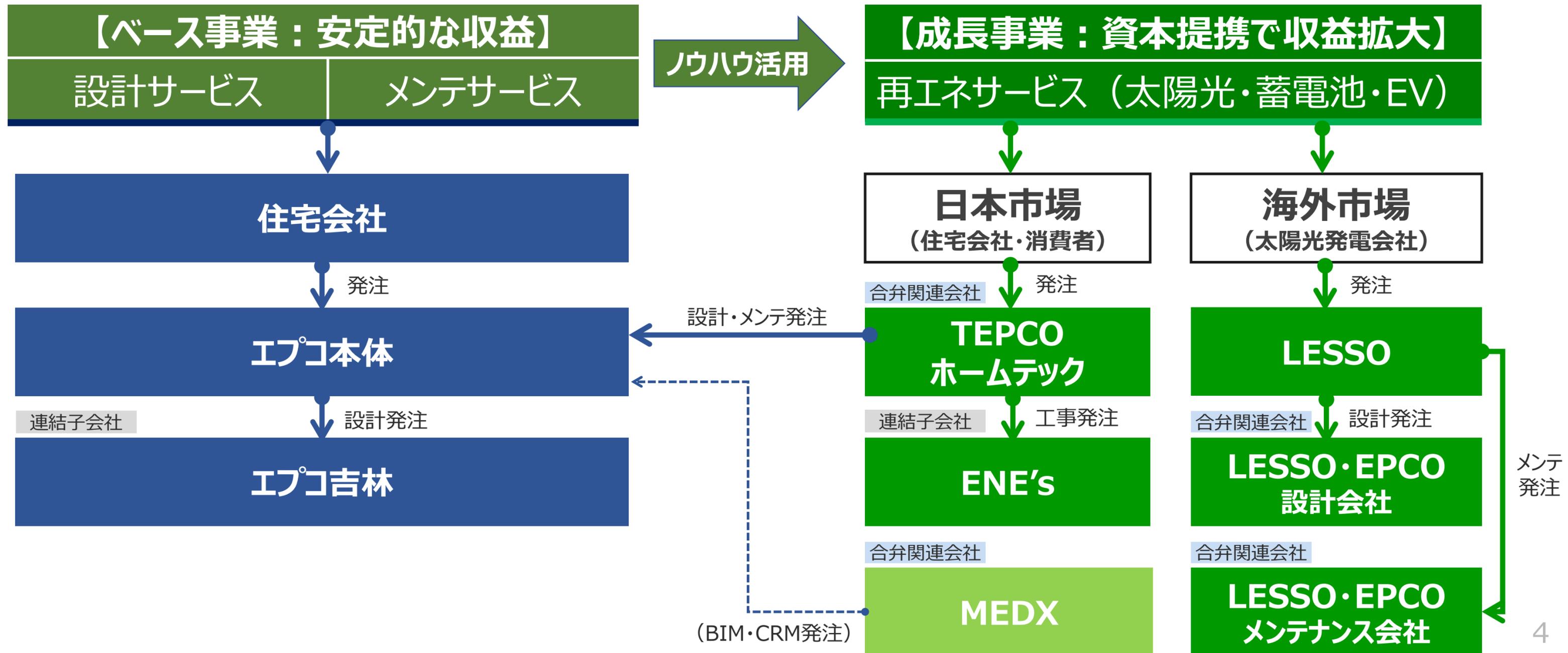
04. Appendix.

エプコグループは、1990年の創業以来、住宅ライフラインを支える3つのコア事業（設計・メンテ・再エネ）を立上げ、安定した収益基盤を築いてまいりました。



# カンパニーハイライト | 事業ポートフォリオの見直し

現在、エプコグループは、持続的な成長を実現するために、事業ポートフォリオの見直し局面を迎えております。  
 ベース事業で安定収益を稼ぎつつ、成長事業である再エネサービスに注力し収益の最大化を目指します。



「再エネサービス」は、再エネ設備のライフサイクル全般に対してサービス提供を行うものです。  
 大手企業との資本提携を活用したグループ経営により、日本及び海外市場で速やかな事業拡大を目指してまいります。

## 再エネサービス (太陽光・蓄電池・EV)

【製造】



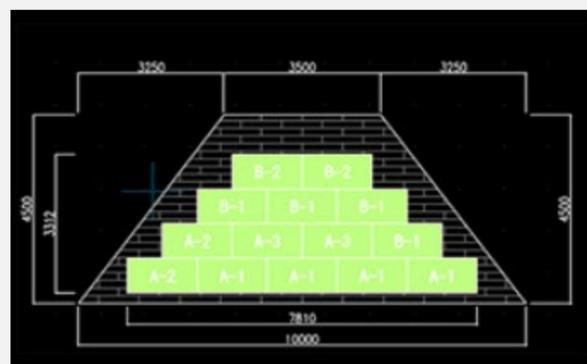
【設計】



【施工】



【メンテナンス】



日本

(各社メーカー)



東京電力グループ  
 TEPCO ホームテック株式会社



海外

LESSO 联塑

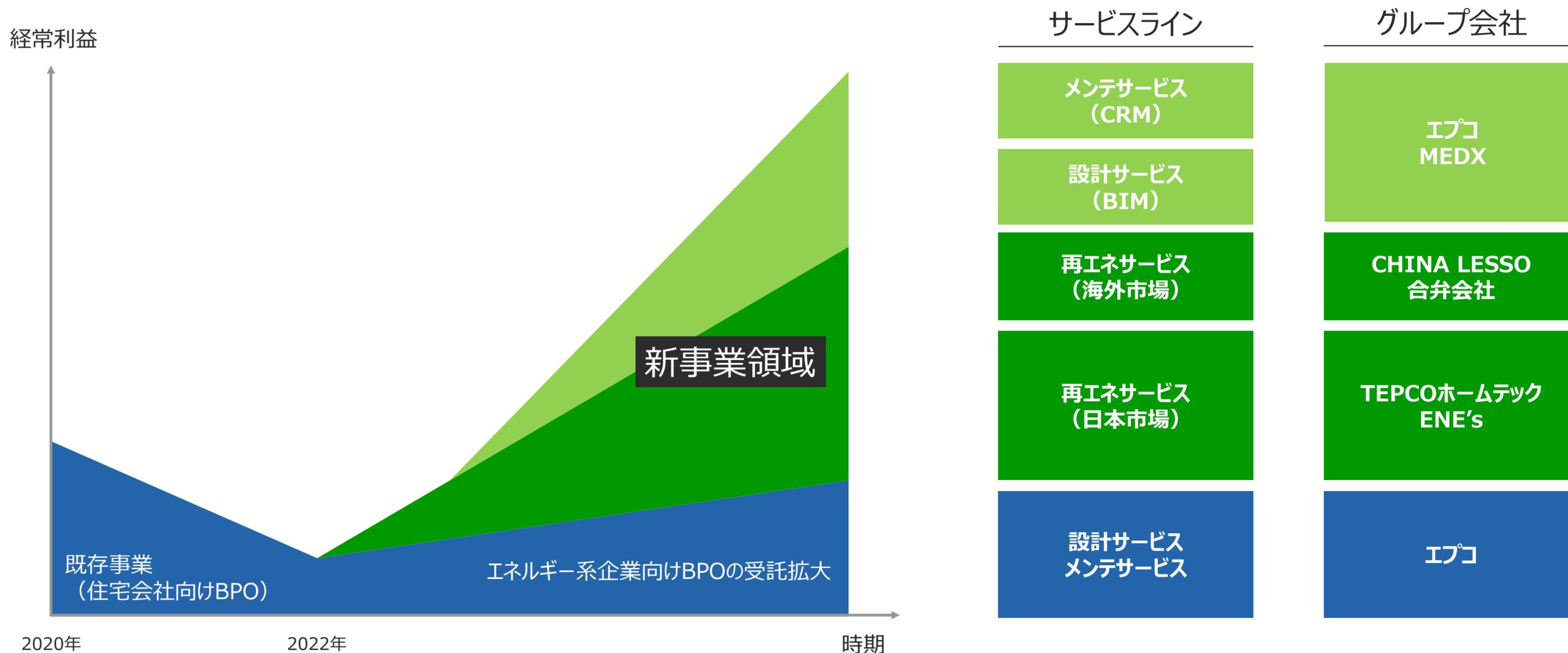


LESSO 联塑



# カンパニーハイライト | エプコグループ 利益成長イメージ

直近は利益減少傾向にありましたが、2023年より新規事業の利益貢献による利益拡大期を迎えます。  
従来はエプコ単独による事業展開でしたが、今後はグループ会社間のシナジー効果が発現し、  
各社の利益が拡大することで、連結経常利益の最大化を目指します。



01. カンパニーハイライト

**02. 2023年12月期 第2四半期実績及び通期業績予想**

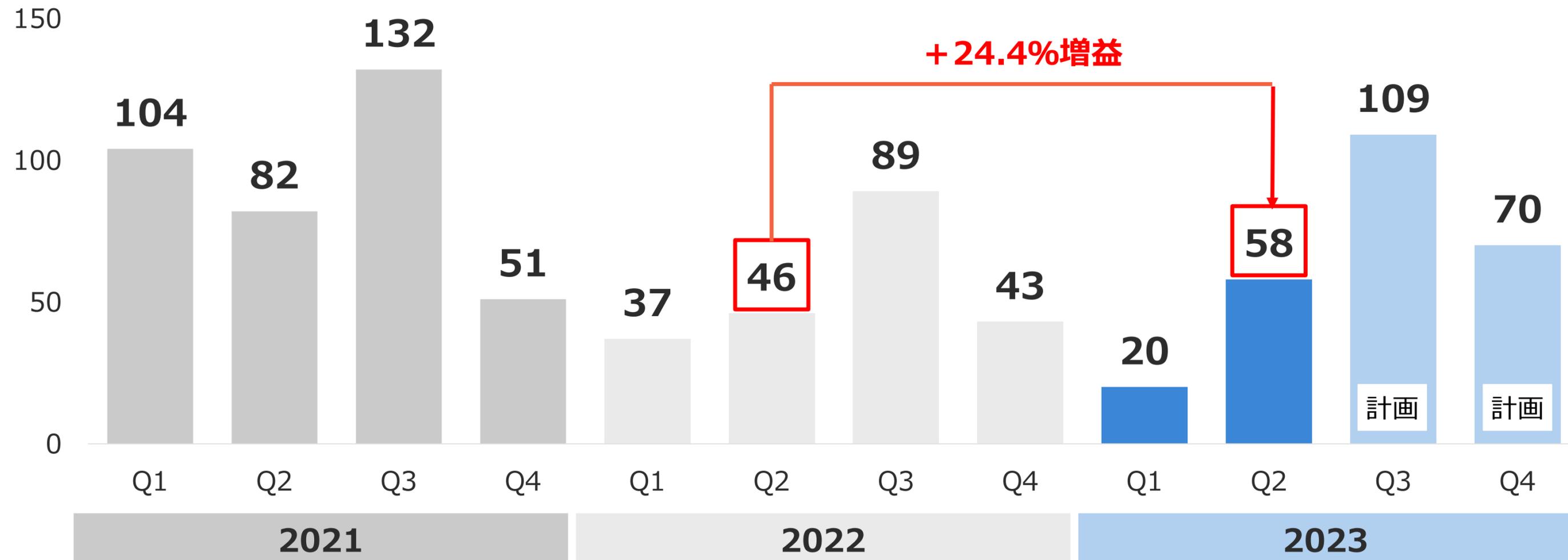
03. スタндарт市場への選択申請及び資本コスト経営の実現

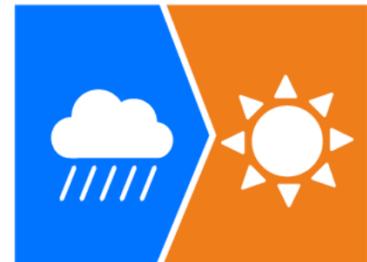
04. Appendix.

2023年Q1（1～3月）まで減益が続いていた中、各セグメントの業績改善策が功を奏したことで、Q2（4～6月）の連結経常利益は増益に転換しており、業績底打ち局面にあります。当Q3以降も前年同四半期比で増益が続く見通しです。

(単位：百万円)

### 連結経常利益 四半期別推移

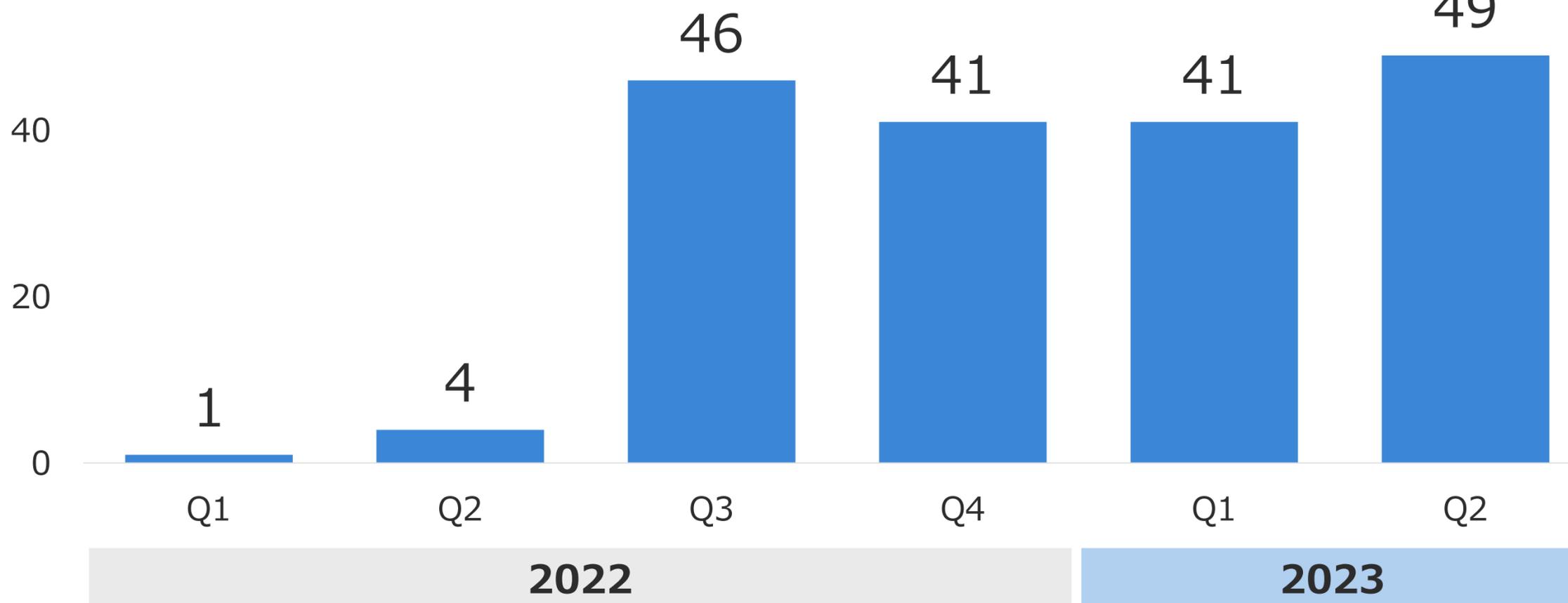


<h2>FY2023 Q2業績</h2>	<p>経常利益 78百万円 前期比 ▲6.9%</p>	<p>為替差損益の影響で前期比減益も、セグメント増益によりQ2(4~6月)は増益転換 Q3以降も利益回復見通し</p>	
<h2>再エネサービス</h2>	<p>経常利益 38百万円 前期比 +7.1%</p>	<p>TEPCOホームテックの業績好調で増益を確保 Q3以降は、海外太陽光事業の損益改善により利益拡大見通し</p>	
<h2>メンテナンスサービス</h2>	<p>経常利益 110百万円 前期比 ▲6.4%</p>	<p>エネルギー系企業向け売上拡大も、受託拡大を見据えた増員及び事業継続対策費用の増加による減益</p>	
<h2>設計サービス</h2>	<p>経常利益 130百万円 前期比 +34.2%</p>	<p>旧エプロ深圳の合併会社化等による設計コスト減少による増益、Q3以降もBIM事業の増益等により利益拡大見通し</p>	

TEPCOホームテックの持分法投資損益（2023年Q2）は、四半期ベースで過去最高益を達成しました。

TEPCOホームテック 持分法投資損益の推移

(百万円)



前年同期比  
+44百万円

# 2023/12 Q2 | 連結業績 概況 (前年同期比)



経常利益は減益となりましたが、純利益は投資有価証券及び関係会社出資金の売却に伴い、特別利益が発生したことにより、増益を確保しました。

(単位：百万円)	FY22Q2 実績	FY23Q2 実績	増減	増減率
売上高	2,378	2,404	+25	+1.1%
経常利益	84	78	▲5	▲6.9%
純利益	159	177	+18	+11.8%
※純利益の増加要因				
投資有価証券売却益	119	110		
関係会社出資金売却益	—	65		

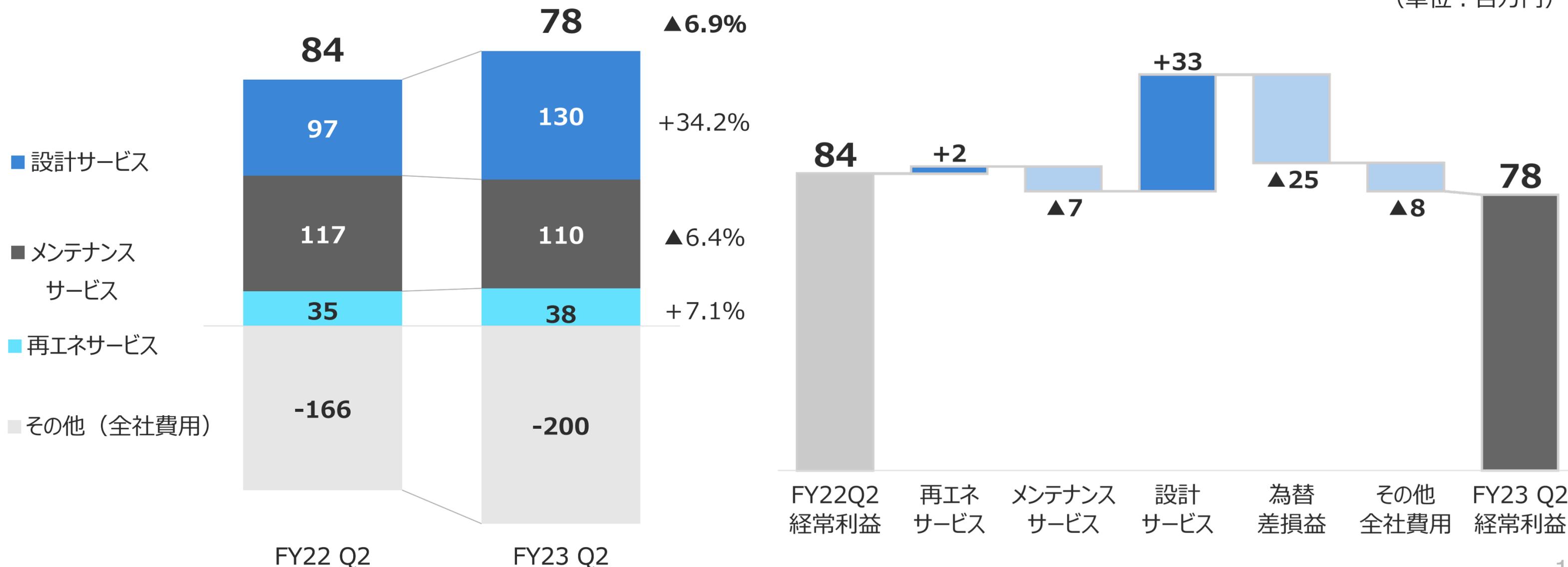
# 2023/12 Q2 | 連結経常利益（前年同期比）

減益の主たる要因は為替差損益の減少によるものですが、3セグメントの経常利益合計は増益を確保しました。

（FY22 Q2は、人民元高・円安が進行する中、為替予約により為替差益が発生）

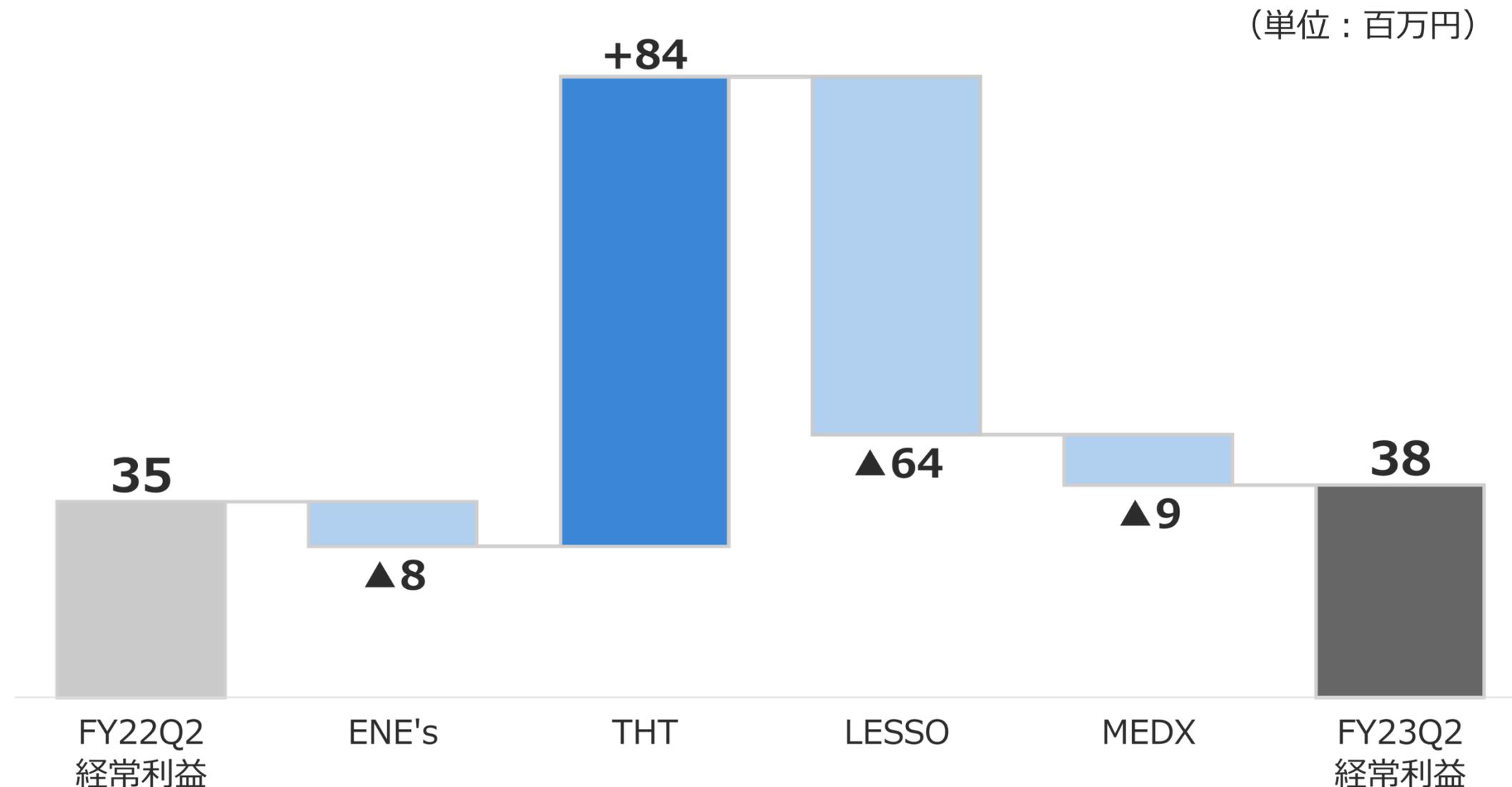
## エプコグループ 連結経常利益

（単位：百万円）



TEPCOホームテック（THT）は大幅増益となった一方で、その他グループ会社は先行投資の局面です。  
ENE's及びLESSOは、各種施策の実行により、下半期での業績改善が見込まれております。

## 再エネサービス 経常利益 グループ会社別増減分析



## 主な減益要因

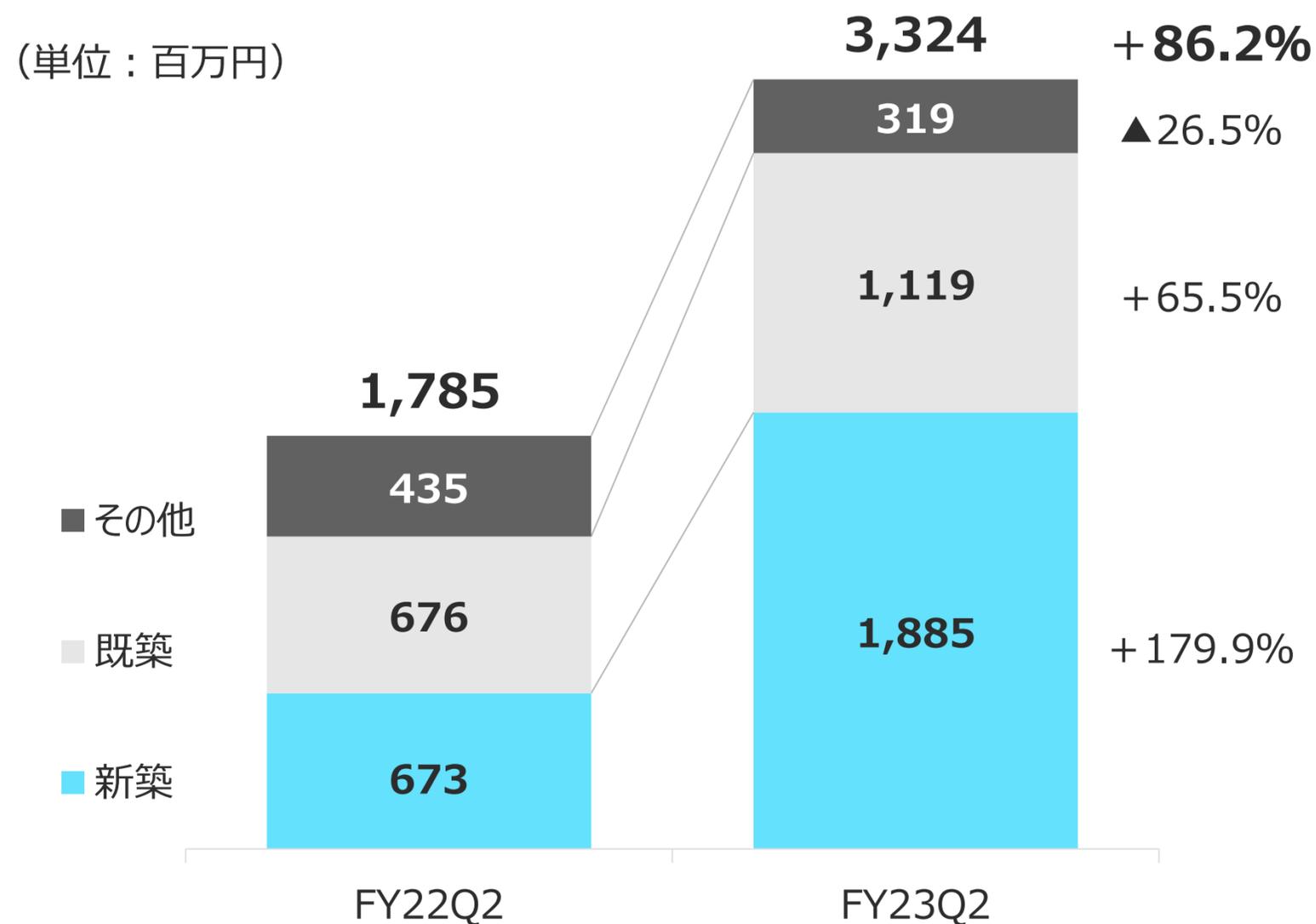
- ENE's
  - ・外注費等の上昇による粗利率の低下
  - ・人員増員による販管費の増加
  - ⇒ 受注価格の見直しを実施
  - 下期以降は、損益改善の見込み
- LESSO
  - 太陽光発電設計事業の受託を準備中 (P.16参照)



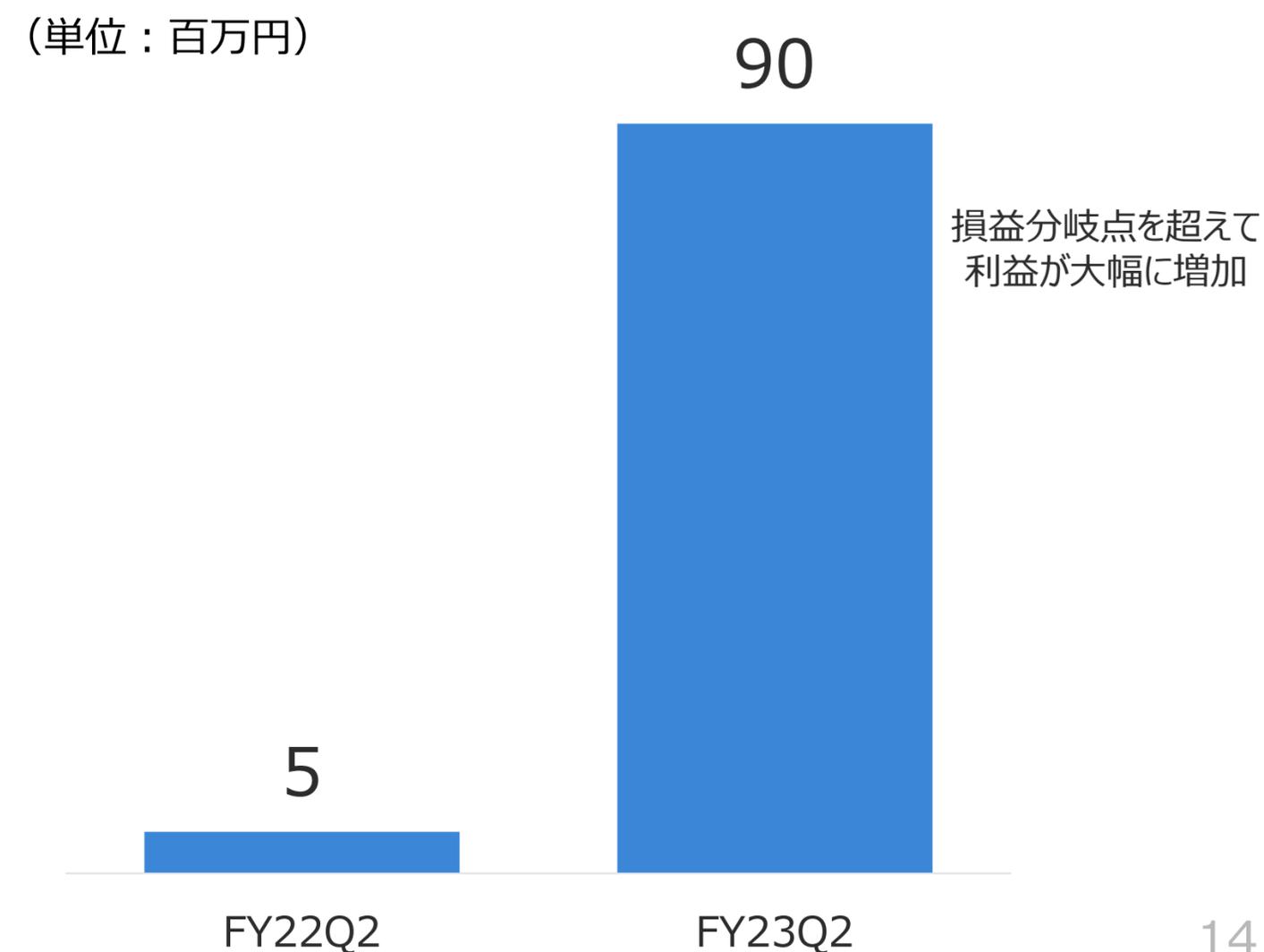
⇒ 今後は設計受託件数が増加  
Q4には、損益改善の見込み

日本政府や地方自治体による再エネ設備導入に向けた政策支援の後押しを受ける中、再エネ設備の設置工事売上・利益は、新築及び既築住宅向けいずれも大幅な伸びを示しております。

### TEPCOホームテック 売上高 (前上半期比)



### TEPCOホームテック 持分法投資損益 (前上半期比)



新築向け売上は、不動産・分譲住宅会社によるエネカリ採用社数が増加することで、着実な成長を示しております。



東電EPとの「脱炭素プロジェクト」のひとつとして「すみふ×エネカリ」をスタート

すみふ × エネカリ



分譲戸建てシリーズで採用。  
横浜市と柏市の全75邸



「新築そっくりさん」で採用



「ZEH」に採用  
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)



2021.9

2021.10

2021.11

2022.1

2022.4

2023.3

2023.4



東京・神奈川の建売分譲全棟で採用



分譲戸建て住宅で採用



「美鳥ヶ丘ブライトガーデン」で採用



上半期は事業立上げ準備（設計スタッフ教育、設計資格の取得、設計トライアル等）に注力しました。  
 下半期から実受託物件の設計図納品が進む中で、合併会社の売上増加・利益改善が進む見通しです。

## 【活動状況】

- 中国設計スタッフ 業務研修  
（LESSO社との業務確認）
- 再エネ設計業務を行うための  
中国設計資格 取得準備
- 実物件の設計トライアル開始  
（約200件の設計業務受託）
- 実物件の設計受託開始  
（主に海外案件）
- 実物件の設計受託増加  
（中国国内及び海外案件）

	Q1 (1~3月)	Q2 (4~6月)	Q3 (7~9月)	Q4 (10~12月)
2023年				

中国 設計資格  
取得準備



中国設計スタッフ  
研修風景



設計業務  
トライアル風景



エプロ・LESSO合併会社  
総合展示場開設



LESSO  
太陽光パネル設置状況



China Lesso Groupは、太陽光発電事業の立上げに向けて迅速かつ巨額の投資を実施しております。

中国・海外での精力的な営業活動

2023年4月 PV販売代理店説明会



2023年3月 販売展示会 in イタリア

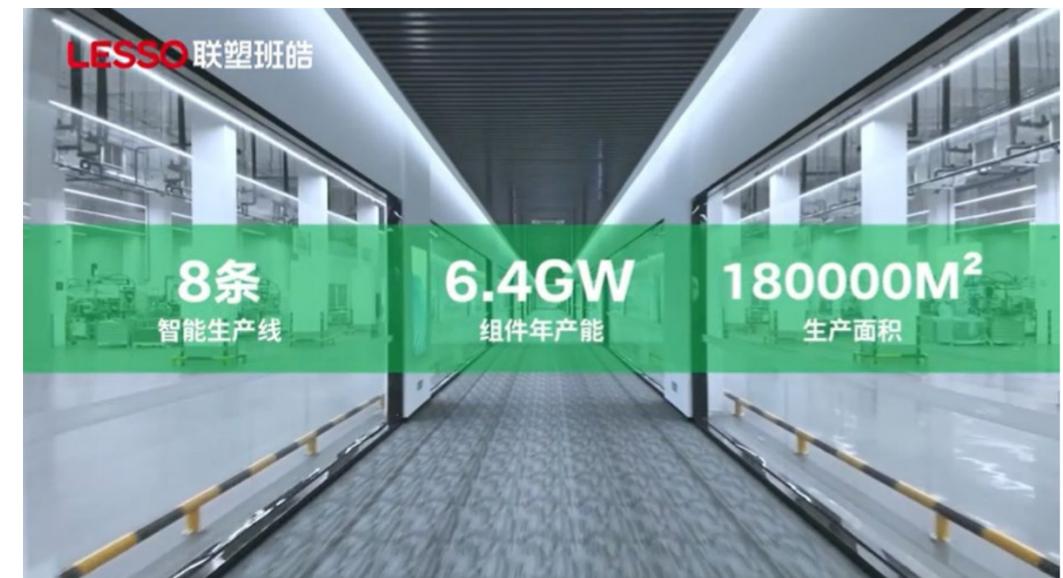


工場投資による生産能力向上

2023年3月 順徳大良新工場完成



新工場稼働後の生産能力は年間約7GWに増加

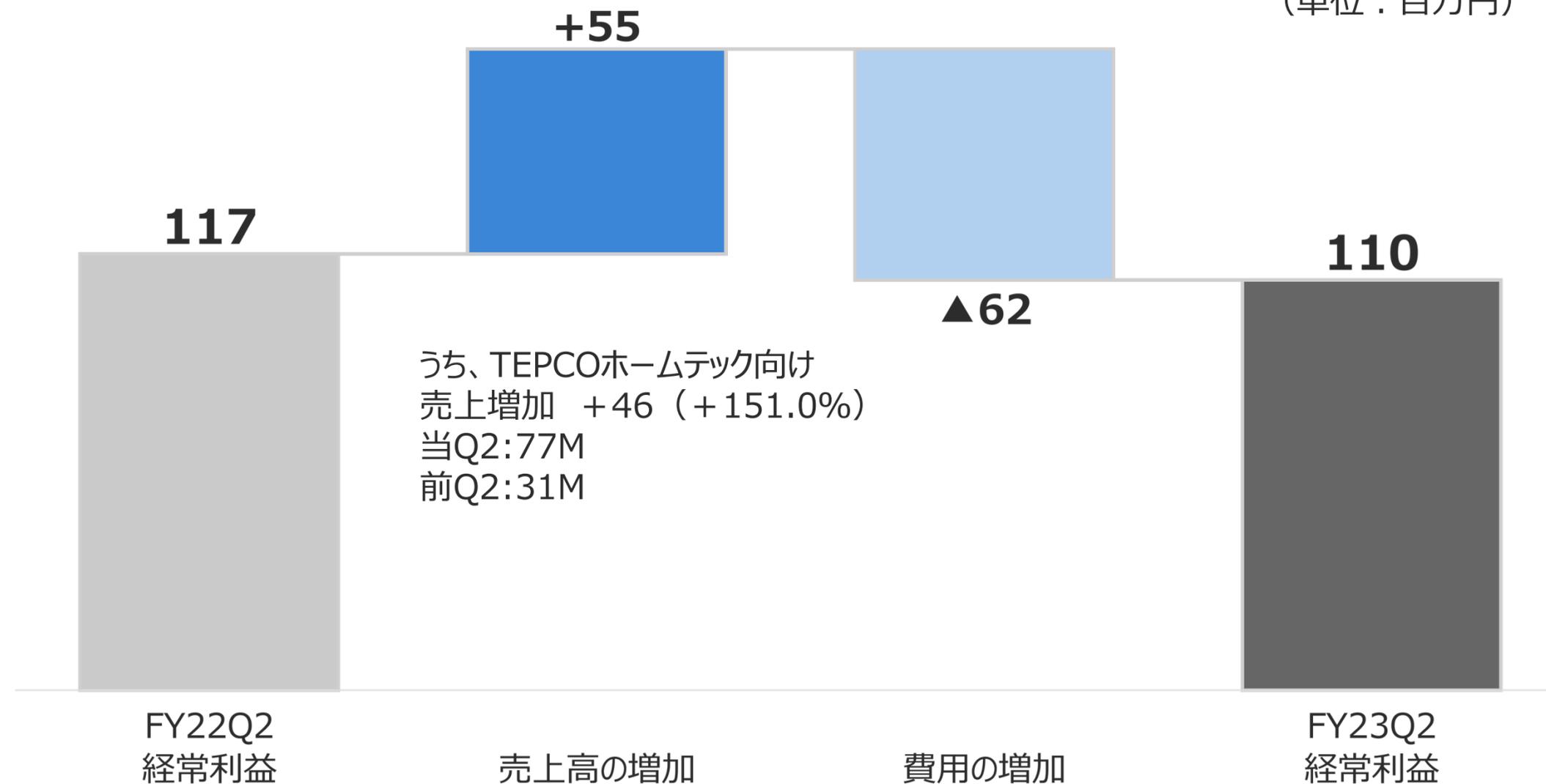


TEPCOホームテックなどのエネルギー系企業からの受託が増加するも、受託増加を見据えた人員の先行増員、および事業継続対策費用（業務拠点の分散化等）の増加により減益となりました。

## 減益の要因

### メンテナンスサービス 経常利益 増減分析

(単位：百万円)



### メンテナンスサービス 従業員数推移

拠点	FY22Q2	FY23Q2	前期比
沖縄	225名	237名	+12名
東京	16名	25名	+9名
金沢	12名	17名	+5名
合計	253名	279名	+26名

※新拠点（東京・金沢）でも増員を実施

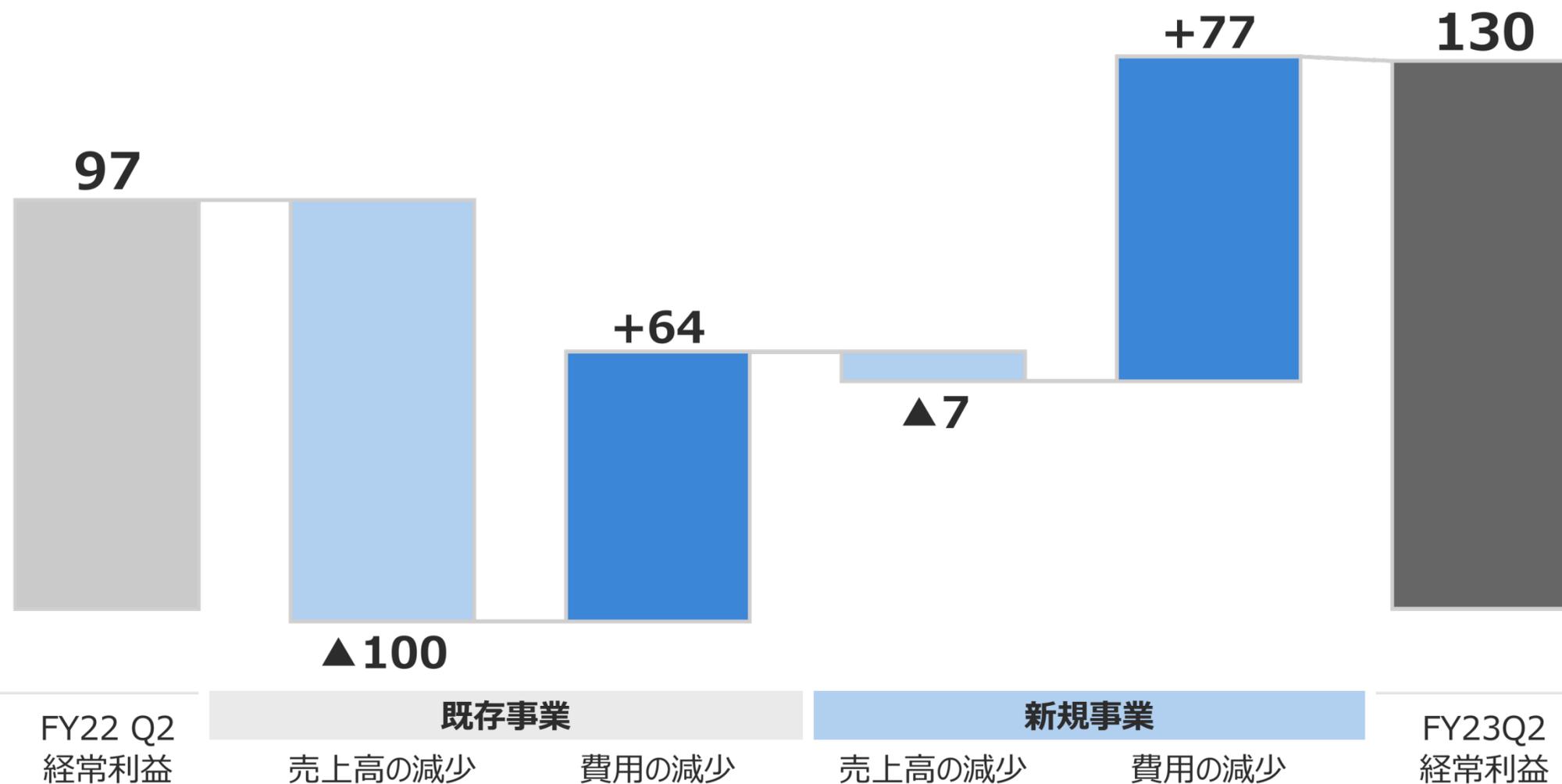


既存事業の売上が減少する中、旧エプコシンセンの合併会社化により設計費用を削減し、増益を確保しました。  
 今後は、新規事業（BIM関連）の拡大等により、さらなる利益改善を見込んでおります。

## 主な増益要因と今後の見通し

### 設計サービス 経常利益 増減分析

(単位：百万円)



- 既存事業の売上高減少要因  
住宅着工(持家) 前年同期比▲10.5%
- 増益要因  
旧エプコシンセンの合併会社化  
⇒ 既存/新規事業の設計スタッフ減少
- 今後の見通し  
① 新規事業（BIM関連）の拡大  
② 設計単価改定効果が下半期より発現  
⇒ Q3以降、さらなる利益改善の見込み

(参考) 設計サービス事業の内訳

FY23Q2	既存事業	新規事業	合計
売上高	935	24	959
営業費用	774	54	829
経常利益	160	-30	130

(単位：百万円)

FY22Q2  
実績FY23Q2  
実績

増減

増減率

売上高 (連結)

2,378

2,404

+25

+1.1%

再エネサービス

446

525

+78

+17.6%

メンテサービス

863

919

+55

+6.4%

設計サービス

1,068

959

▲108

▲10.2%

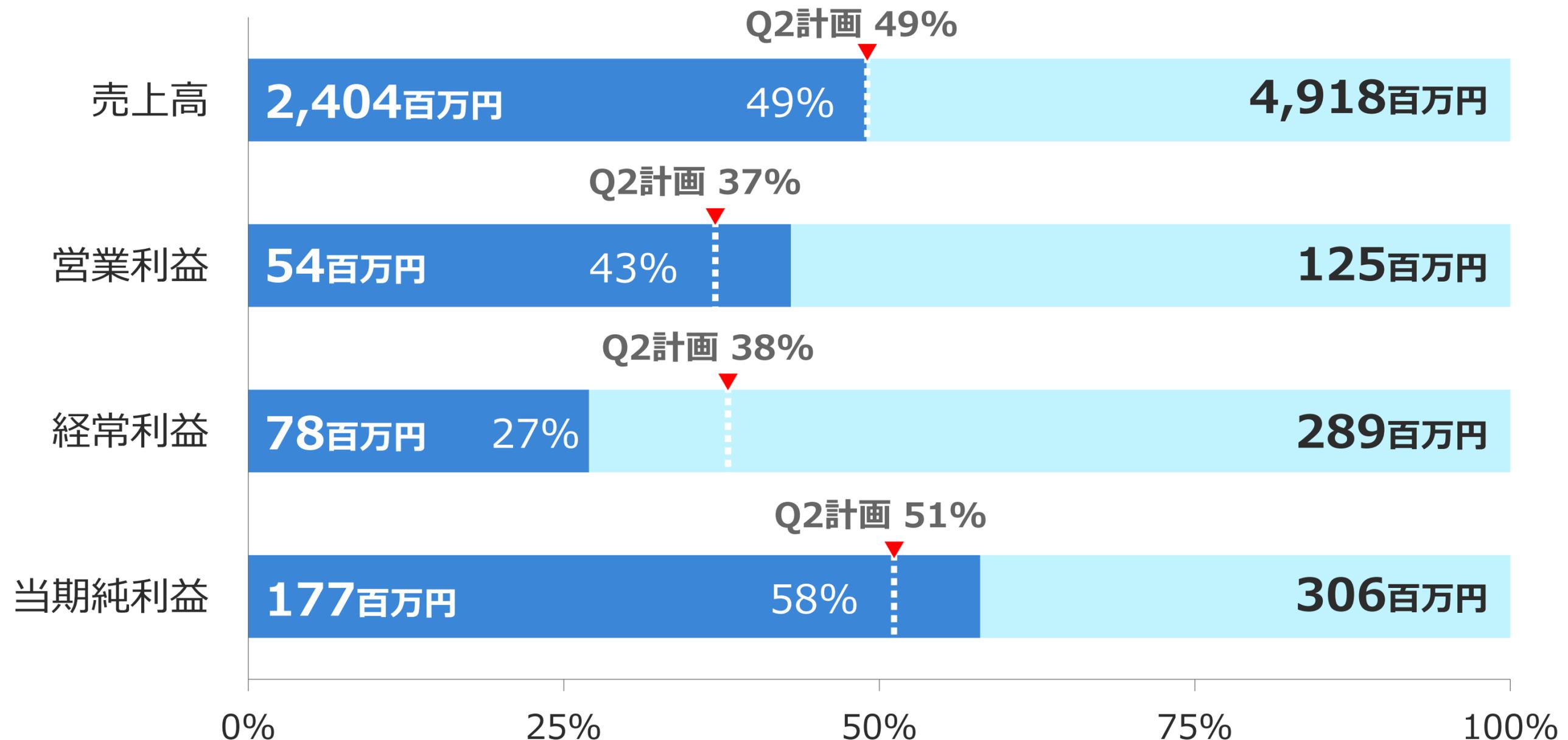
(単位：百万円)

	FY22Q2 実績	FY23Q2 実績	増減	増減率
<b>経常利益（連結）</b>	<b>84</b>	<b>78</b>	<b>▲5</b>	<b>▲6.9%</b>
<b>再エネサービス</b>	<b>35</b>	<b>38</b>	<b>+2</b>	<b>+7.1%</b>
ENE's	<b>17</b>	<b>8</b>	<b>▲8</b>	<b>▲48.5%</b>
TEPCOホームテック	<b>5</b>	<b>90</b>	<b>+84</b>	<b>+1412.1%</b>
LESSO	<b>19</b>	<b>-44</b>	<b>▲64</b>	<b>-</b>
MEDX	<b>-7</b>	<b>-16</b>	<b>▲9</b>	<b>-</b>
<b>メンテサービス</b>	<b>117</b>	<b>110</b>	<b>▲7</b>	<b>▲6.4%</b>
<b>設計サービス</b>	<b>97</b>	<b>130</b>	<b>+33</b>	<b>+34.2%</b>
<b>その他（全社費用・営業外損益）</b>	<b>-166</b>	<b>-200</b>	<b>▲34</b>	<b>-</b>

再エネサービス及び設計サービスが業績を牽引することで、営業・経常利益いずれも増益の見通しです。

(単位：百万円)	FY22 実績	FY23 計画	増減	増減率
売上高	<b>4,818</b>	<b>4,918</b>	<b>+99</b>	<b>+2.1%</b>
営業利益	<b>65</b>	<b>125</b>	<b>+59</b>	<b>+91.1%</b>
経常利益	<b>216</b>	<b>289</b>	<b>+72</b>	<b>+33.4%</b>
純利益	<b>359</b>	<b>306</b>	<b>▲52</b>	<b>▲14.8%</b>

経常利益のQ2計画未達の主たる要因は、再エネサービスの海外事業における売上の期ズレによるものです。下半期中には期ズレが解消する見通しであり、経常利益においても通期予想達成は可能と捉えております。

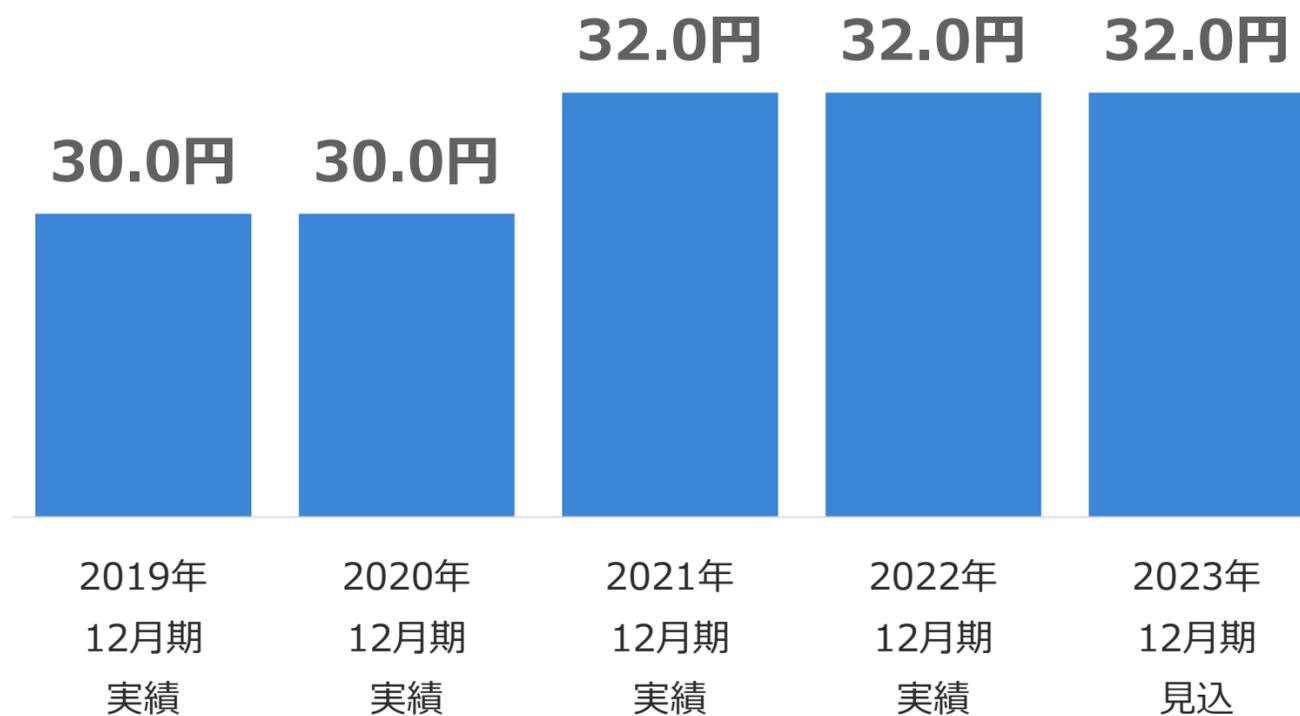


配当方針：連結配当性向50%及び純資産配当率（DOE）8%を目安とした利益還元を**安定的**に実施

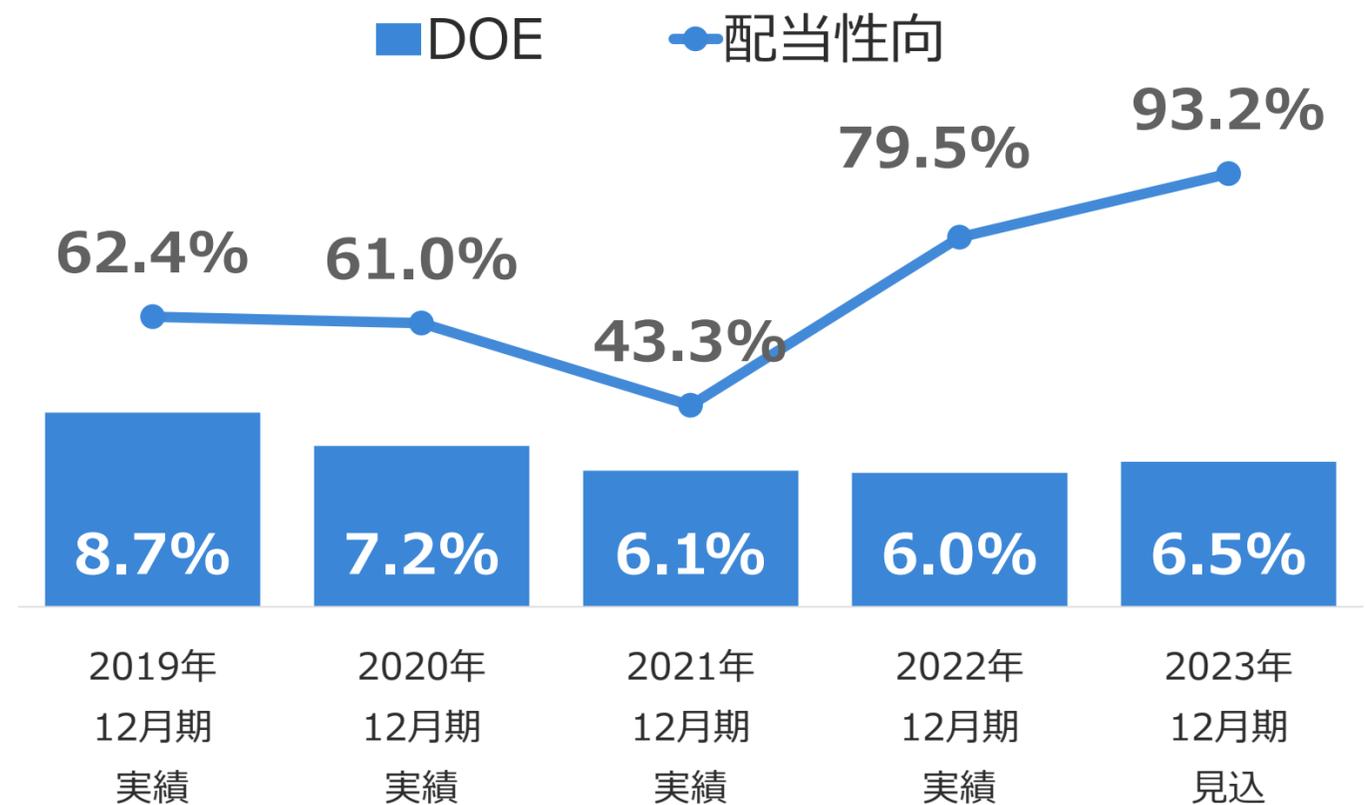
2023年12月期 1株当たり配当予想額 **32円**（第2四半期末：14円、期末：18円）

配当利回り **4.2%**（2023年7月31日付株価（760円/株）にて算定）

【配当金】



【配当性向、純資産配当率（DOE）】



抽選の応募者数が増加していることを受けて、当上半期は当選者を3名から5名に拡大しております。

### 抽選式株主優待の内容

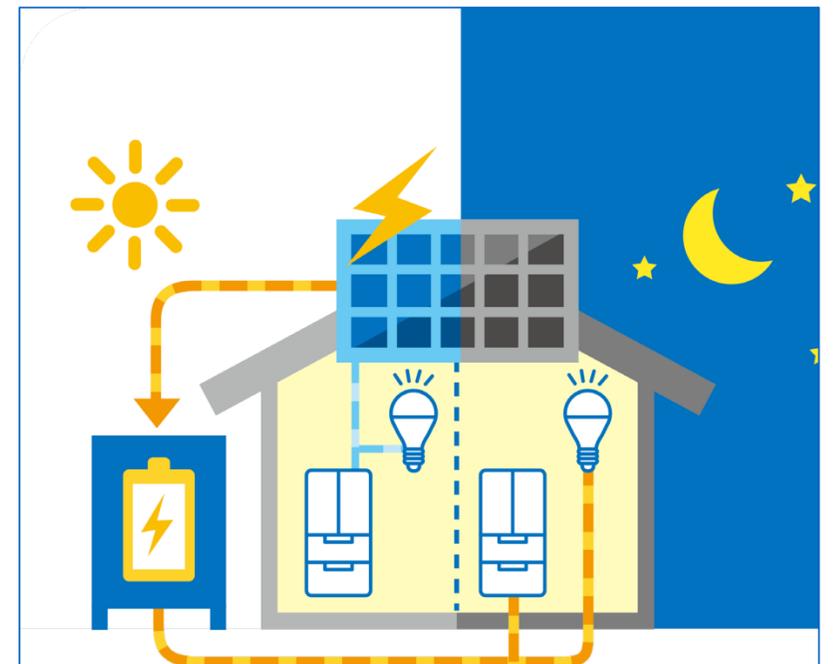
- 太陽光発電システム、または、蓄電池（100万円相当）を無償設置
- 年に2回抽選(上半期(6月末)・下半期(12月末)株主様を対象)
- 保有株式数に応じて当選確率が増加（上限1,000株 最大10口）

### 抽選対象となる株主様

- ① 当社株式**1単元（100株）以上を保有**されている株主様  
（当上半期は2023年6月末日の当社株主名簿に記載された株主様）
- ② 抽選の**応募手続を実施**した株主様

### 設置可能場所

- 当選者は**設置場所を自由に指定可能**（ご家族やご友人等でもOK）
- 設置条件は**日本国内の戸建て住宅**



**2023年度上半期は当選者5名 抽選会は2023年8月28日（月）**

「2023年12月期 経営計画説明会（第2四半期）」にて実施予定

01. カンパニーハイライト

02. 2023年12月期 第2四半期実績及び通期業績予想

**03. スタндарт市場への選択申請及び資本コスト経営の実施状況**

04. Appendix.

# スタンダード市場への選択申請について

当社は、2023年8月9日付で、東京証券取引所に対してスタンダード市場への選択申請を行いました。  
 これにより、当社は、2023年10月20日をもってプライム市場からスタンダード市場へ移行することになります。

(下表のとおり、スタンダード市場における上場維持基準の適合基準は全て充足)

項目	実績 (※1)	プライム		スタンダード	
		上場維持基準	評価	上場維持基準	評価
株主数	5,853人	800人	○	400人	○
流通株式数	46,973単位	20,000単位	○	2,000単位	○
流通株式 時価総額	32.0億円	100億円	×	10億円	○
平均売買代金	0.23億円/日	0.2億円/日	○	—	—
	(※2) 5,241単位/月	—	—	10単位/月	○
流通株式比率	50.4%	35%	○	25%	○

## 【スタンダード市場選択の理由】

- ◆投資家の皆様にとってのメリット  
安心して当社株式を保有・売買できる環境を確保
- ◆当社にとってのメリット  
資本コスト経営の実現による企業価値の向上に  
経営資源を集中 (P.28参照)

(※1) 2022年12月末時点

(※2) 2023年1月から2023年6月までの6か月平均

しかし、当社として取り組むべきことは従前と変わらないと考えております。

当初予定どおり中期経営計画の達成に邁進し、将来的にはプライム市場の新規上場基準を充足できるように、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

## 背景 (東証の課題認識)

プライム市場の約半数、スタンダード市場の約6割の上場会社が『ROE 8%未満、PBR 1倍割れ』  
⇒ **資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を要請** (2023年3月末)  
(対象：プライム・スタンダード市場 上場会社)



## 当社の現状

**直近5年間の平均ROEは11.4%、PBRは1.4~4.1倍の間で推移**  
⇒ ただし、事業ポートフォリオの見直しに伴う収益性の低下により、直近事業年度ではROE及びPBRが低下

## 当社の対応

対応方針	取組み
事業ポートフォリオ見直しによる 資本収益性改善	【事業】 グループ経営の推進による再エネサービスの拡大 【事業】 設計・メンテ事業におけるサービスの進化 (BIM、CRM) 【資本】 資本コストや資本収益性を意識したバランスシート経営の推進
攻めのガバナンス体制構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 取締役会審議の活性化、経営経験を有する社外取締役の登用</li> <li>■ 指名・報酬委員会の設置、インセンティブプランの導入</li> </ul>
株主との建設的対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 代表取締役CFOを中心に、経営陣幹部がIRに積極参加</li> <li>■ 取締役会に対して、株主の意見・懸念を定期的にフィードバック</li> </ul>

※ 詳細につきましては、2023年8月9日開示資料、『[資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ](#)』をご参照ください

01. カンパニーハイライト

02. 2023年12月期 第2四半期実績及び通期業績予想

03. スタндарт市場への選択申請及び資本コスト経営の実現

**04. Appendix.**

## 経営理念

我々は、エプコグループで働く情熱ある社員とその家族の幸福を追及します。  
 エプコグループの存在目的は、社会問題を減らし、国民生活に貢献することです。  
 エプコグループは、世界の人々の住まい、暮らしを支えるインフラ企業を目指します。

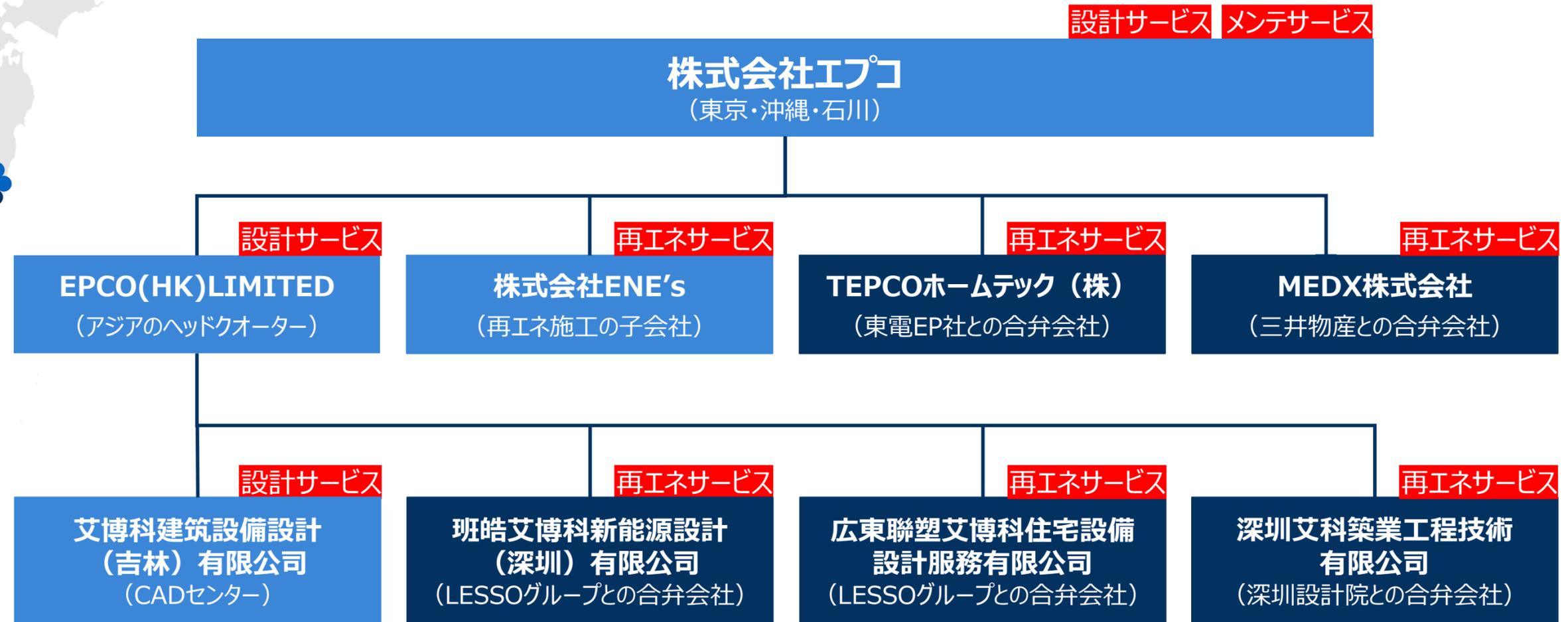
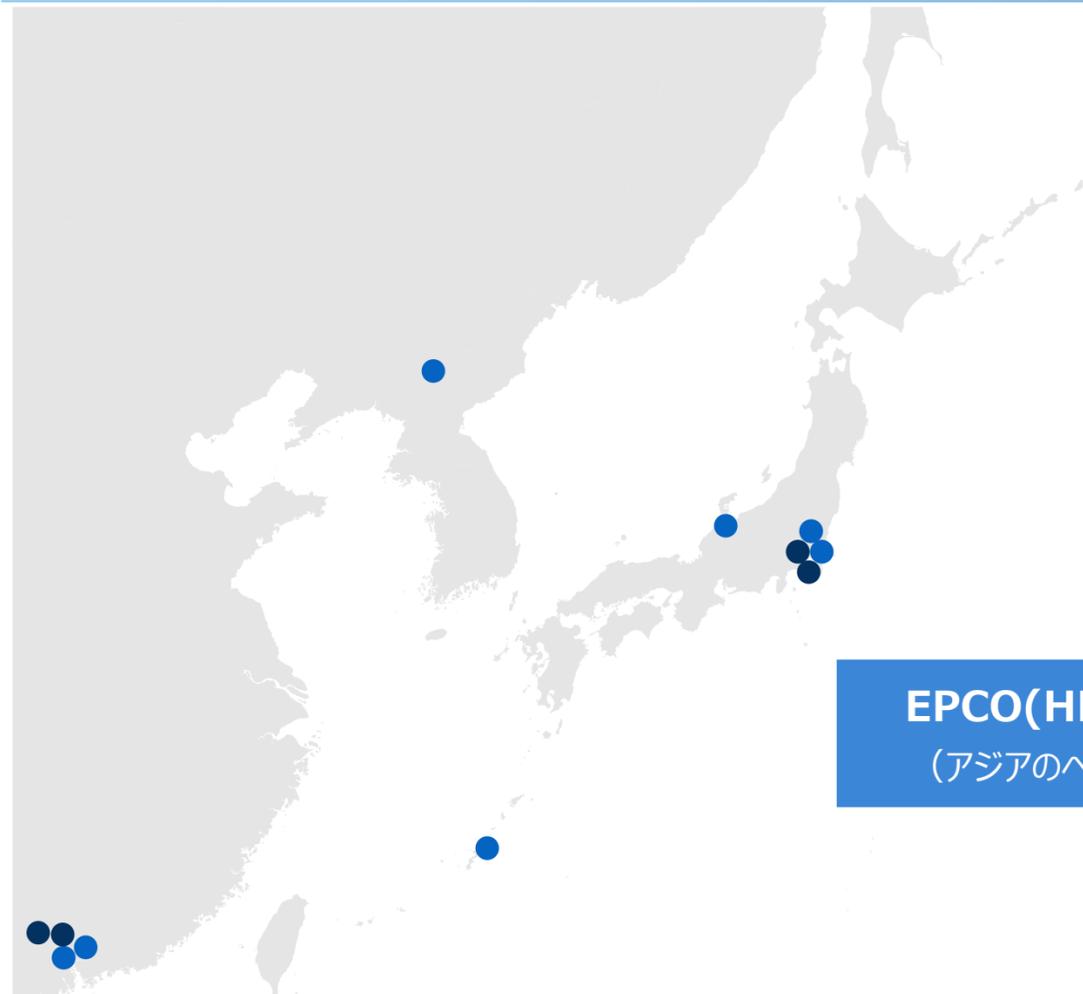


代表取締役グループCEO

岩崎 辰之

会社名	株式会社 エプコ	
本社	〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー 12階	
証券コード	2311 (東証プライム)	
設立	1990年4月12日	
資本金	87百万円	
従業員数	541名 (連結853名) 臨時社員・派遣社員含む ※2022年12月31日時点	
取締役	代表取締役グループCEO 代表取締役CFO 取締役 社外取締役 (監査等委員) 社外取締役 (監査等委員) 社外取締役 (監査等委員)	岩崎 辰之 吉原 信一郎 宮野 宣 渡邊 将志 秋野 卓生 田村 正
執行役員	事業開発管掌 設計サービス及び情報システム管掌 メンテナンスサービス管掌 グループ経営管掌	金 柁 田 楊 超 浦山 貴継 平川 智久

# エプコグループの構成



連結子会社      関連会社

エプコグループの特徴は、合併会社を積極活用したグループ体制（グループ経営）にあります。  
合併事業に伴う持分法投資損益は、全て「再エネサービス」の経常利益に含まれております。

<p>エプコ単体</p> <p>連結子会社（100%）</p> <p>持分法適用会社</p>	設計サービス	メンテサービス	再エネサービス										
営業利益	<p>エプコ (東京・沖縄)</p>	<p>エプコ (東京・沖縄・石川)</p>	—										
	EPCO(HK)LIMITED	—	ENE's										
営業外損益 (持分法投資損益)	艾博科建築設備設計 (吉林)	—											
	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>合併会社名</th> <th>パートナー企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TEPCOホームテック</td> <td>東京電力EP(株)</td> </tr> <tr> <td>MEDX</td> <td>三井物産(株)</td> </tr> <tr> <td>Banhao EPCO ※1</td> <td>China Lesso ※3</td> </tr> <tr> <td>Lesso EPCO ※2</td> <td>China Lesso ※3</td> </tr> </tbody> </table>	合併会社名	パートナー企業	TEPCOホームテック	東京電力EP(株)	MEDX	三井物産(株)	Banhao EPCO ※1	China Lesso ※3	Lesso EPCO ※2	China Lesso ※3
	合併会社名	パートナー企業											
	TEPCOホームテック	東京電力EP(株)											
MEDX	三井物産(株)												
Banhao EPCO ※1	China Lesso ※3												
Lesso EPCO ※2	China Lesso ※3												
—	—												
—	—												

※1 Banhao EPCO : 班皓艾博科新能源設計 (深圳) 有限公司

※2 Lesso EPCO : 広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司

※3 China Lesso : 中国聯塑集团控股有限公司

## Challenge to Evolution

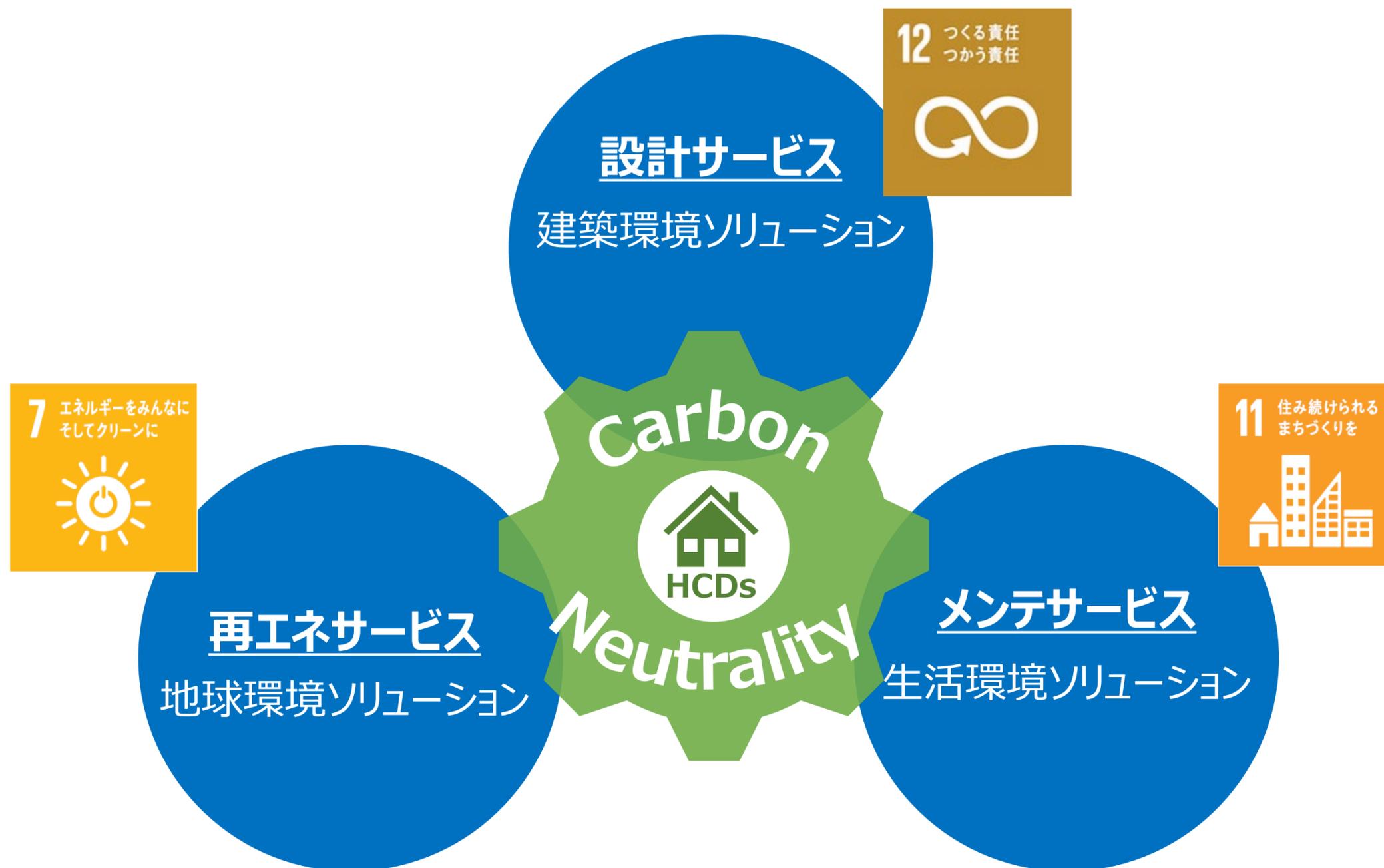
### 脱炭素 × 建築DX

- 2023 ↑ 班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司 設立（CHINA LESSOグループとエプコ深センを合併会社化）
- 2022 ● 金沢オペレーションセンター 設立
- MEDX株式会社 設立
- 2020 ● システムハウスエンジニアリング株式会社（現、株式会社ENE's）を株式取得により子会社化
- 2019 ● 東京証券取引所市場第一部への指定
- 東京証券取引所市場第二部への市場変更
- 2018 ● 沖縄コールセンター移転
- 2017 ● TEPCOホームテック株式会社 設立
- 2016 ● 艾博科建築設備設計（吉林）有限公司 設立
- 2014 ● 東京オフィス移転
- 2011 ● EPCO（HK）LIMITED 設立
- 広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司 設立
- 2005 ● 沖縄事務所開設
- 2004 ● 子会社 艾博科建築設備設計（深圳）有限公司 設立
- 2002 ● 本社事務所を東京都足立区へ移転
- JASDAQ市場へ上場
- 1992 ● 株式会社エプコに改組
- 1990 ● 有限会社エプコ設立

**HCDs** HOUSING  
CARBON NEUTRALITY  
DIGITAL SOLUTIONS

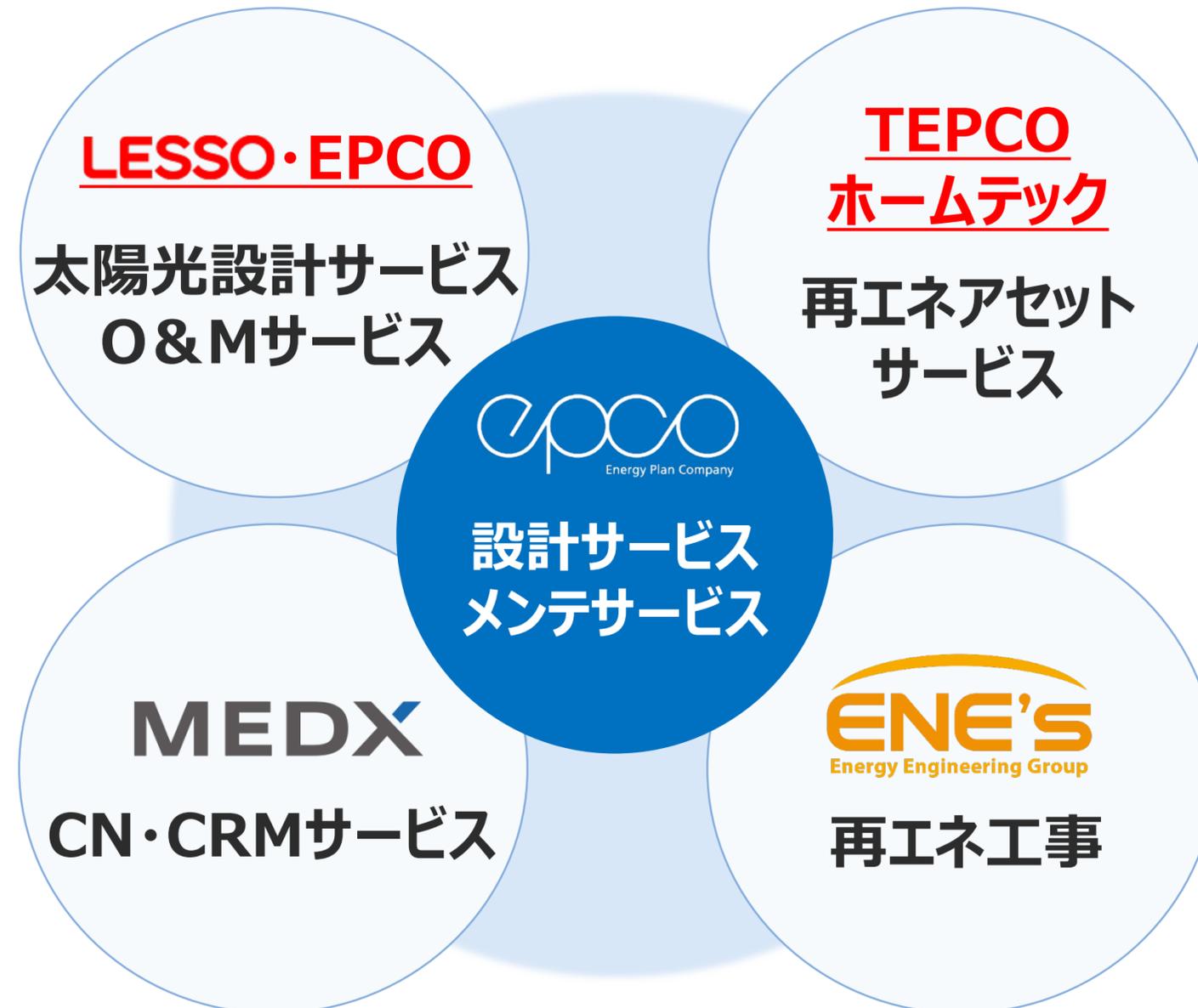
## HCDs : Housing Carbon Neutrality Digital Solutions

エプコグループは住まい・暮らし・地球環境をデジタル技術で支えます。



## グループ経営

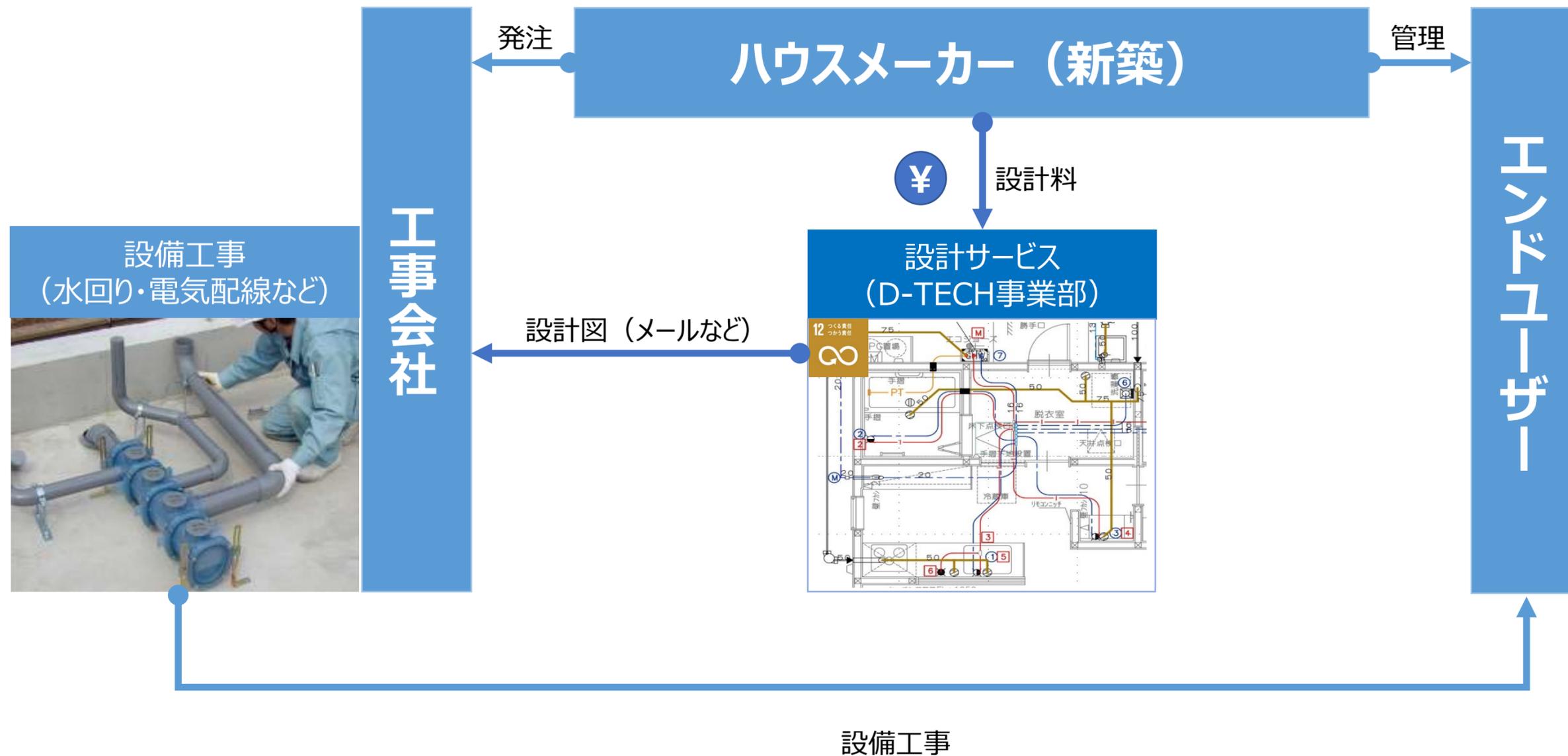
エプコはグループ企業と連携し、グループ企業への価値提供で事業成長を目指す。



## 住宅ライフラインを支える3つのコア事業（設計・メンテ・再エネ）が安定した収益基盤



- ・ハウスメーカーのサプライチェーンを支える日本最大級の設計体制（日中合計で460名）
- ・住宅分野の設計実績は年間約100,000戸（新築低層住宅のシェア約14%）

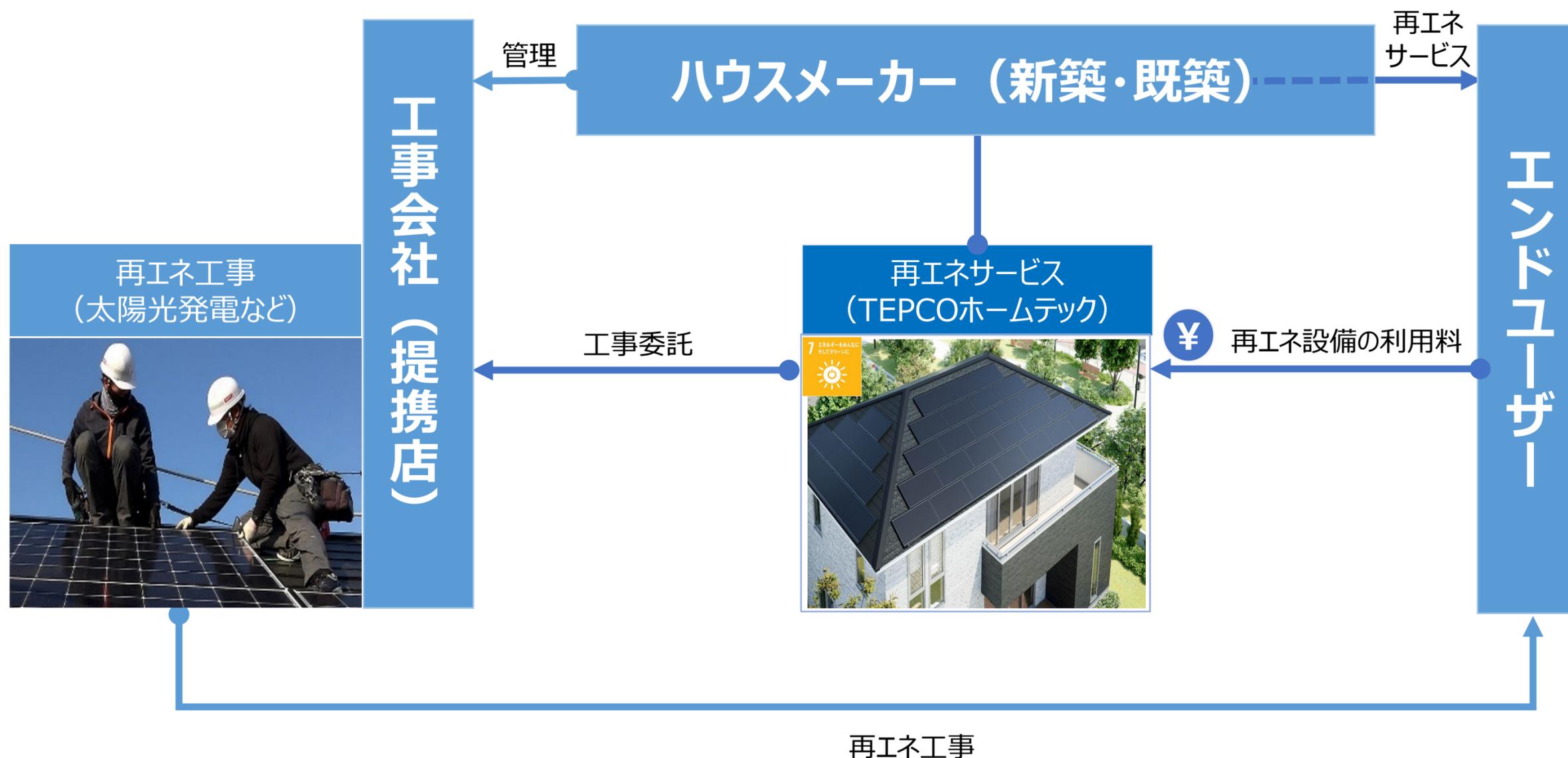


- ・ハウスメーカーのメンテナンスを24時間365日で支えるコールセンター体制（沖縄・金沢で200名）
- ・メンテナンス受付数は年間約600,000件（顧客管理数は全国160万世帯）



メンテナンス工事

- TEPCOホームテックは東京電力エナジーパートナーとエプコの合併会社
- 再エネ設備のサブスクサービス（初期費用ゼロ円の定額利用）が大手分譲住宅会社で採用拡大中



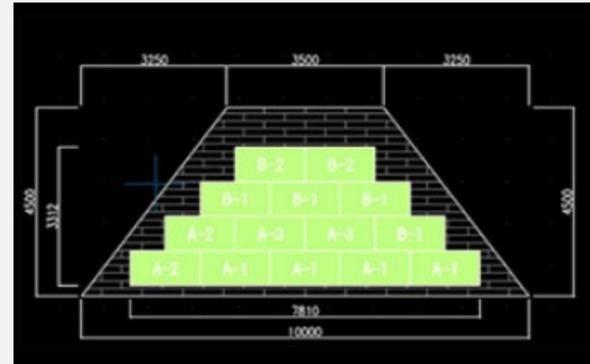
## エプコグループは、パートナー企業と共に「再エネサービス」の事業成長に注力

### 再エネサービス（太陽光・蓄電池・EV）

【製造】



【設計】



【施工】



【メンテナンス】



日本

(各社メーカー)



東京電力グループ  
TEPCOホームテック株式会社



中国

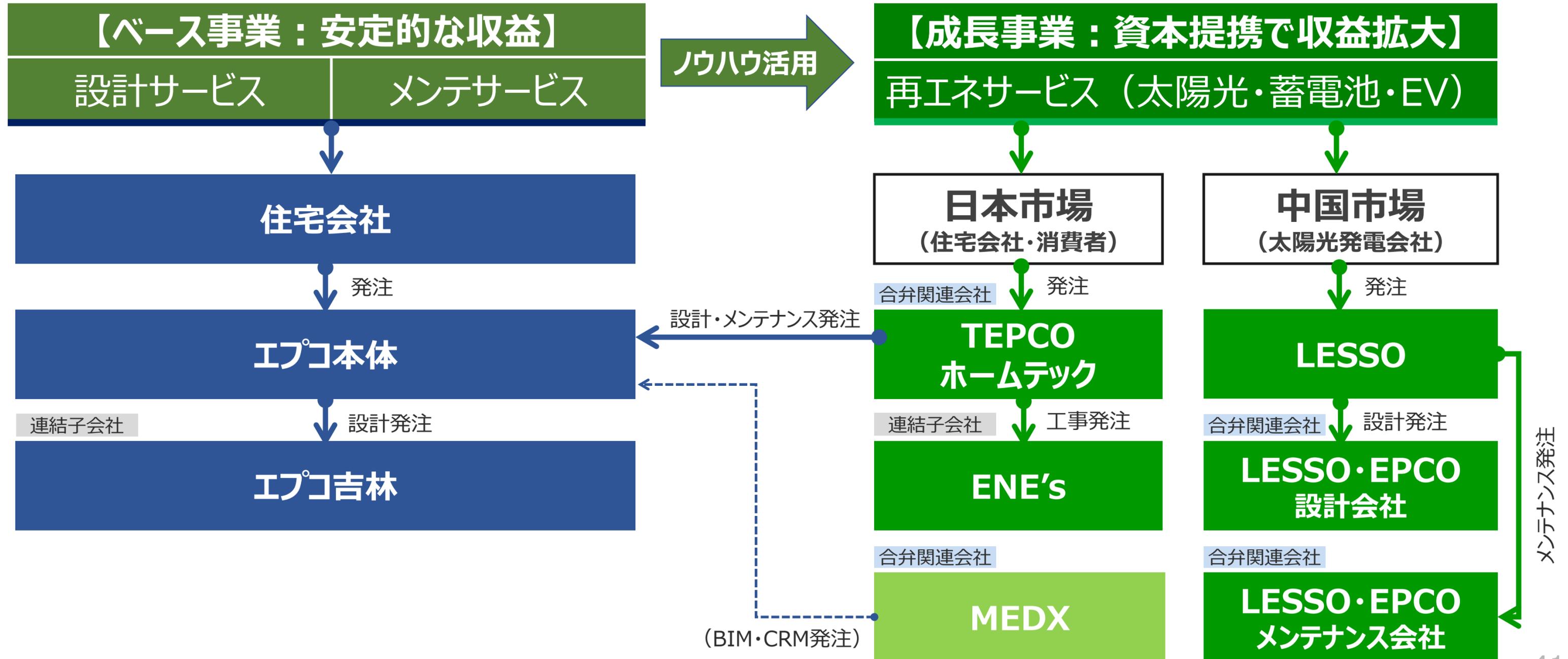
LESSO 联塑



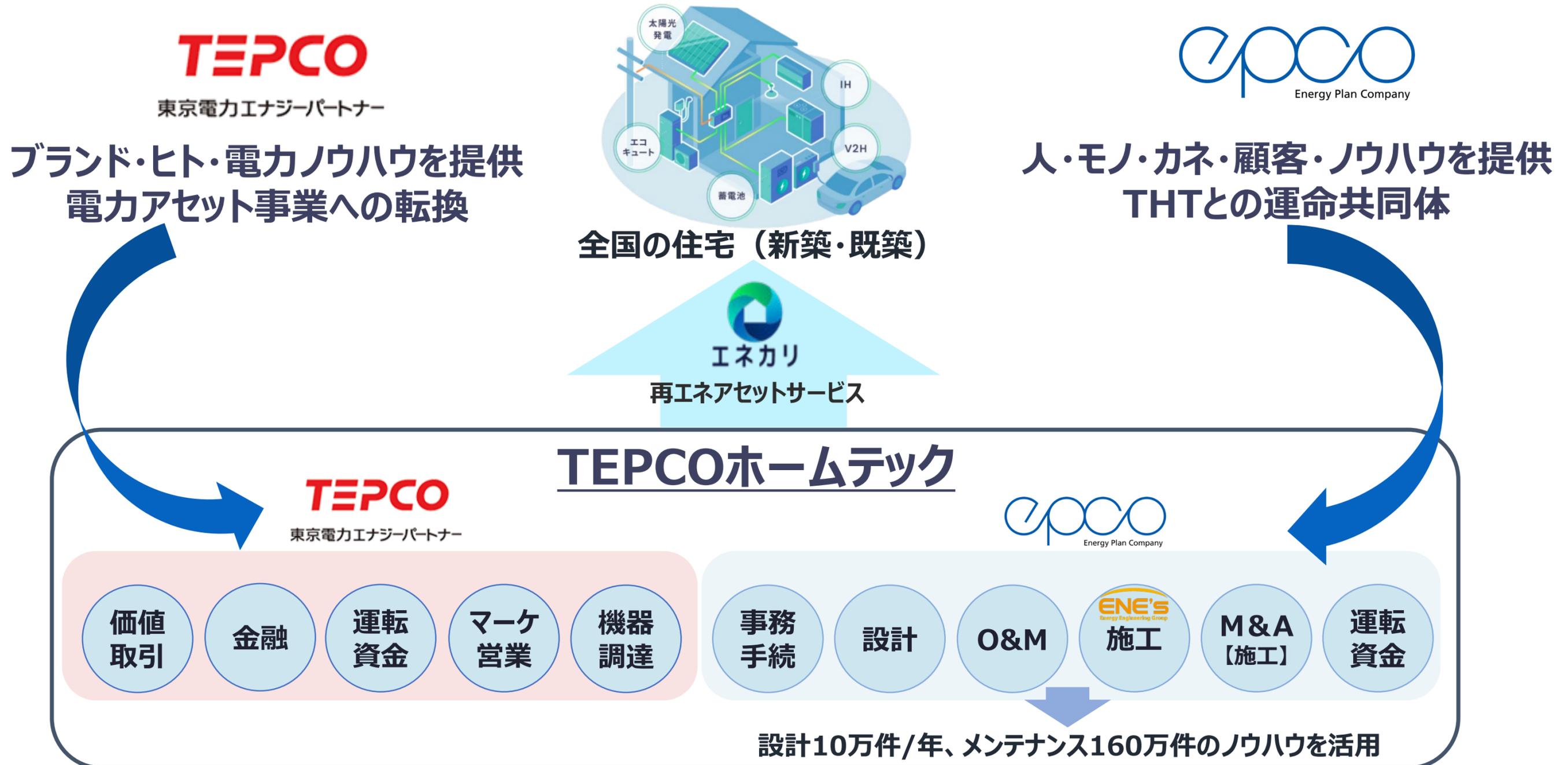
LESSO 联塑



ベース事業で安定収益を稼ぎつつ、成長事業に注力し収益の最大化を目指す。



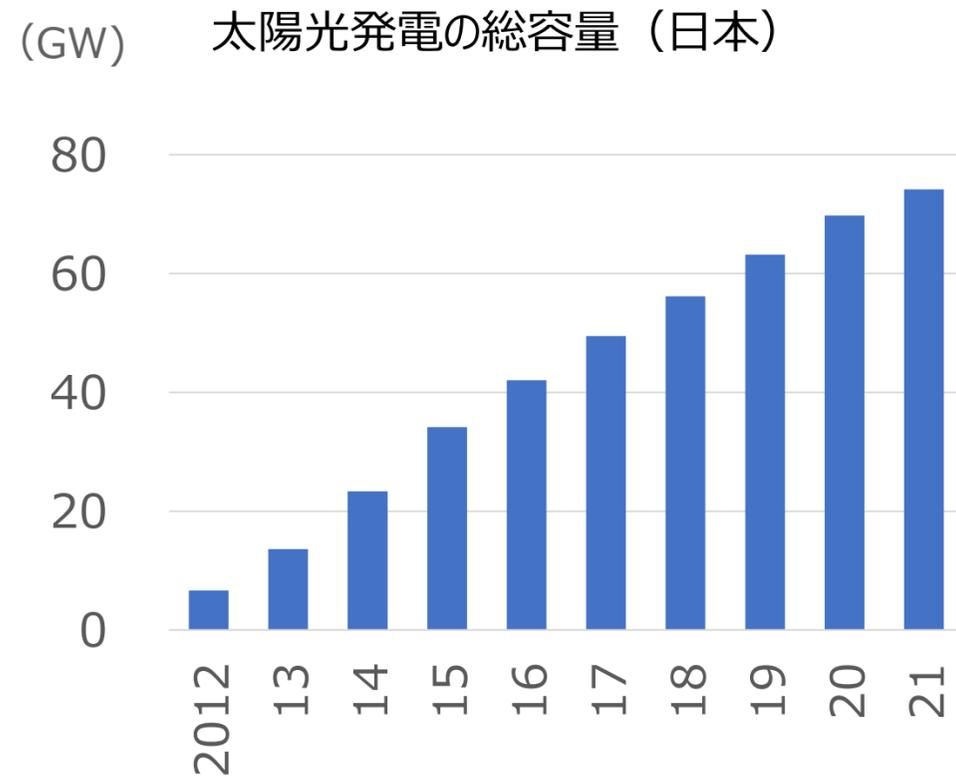
## TEPCOホームテックは、家庭分野のカーボンニュートラルに不可欠な「総合設備企業」を目指す



## 再エネサービスの主たる事業領域は、今後も成長が見込まれる

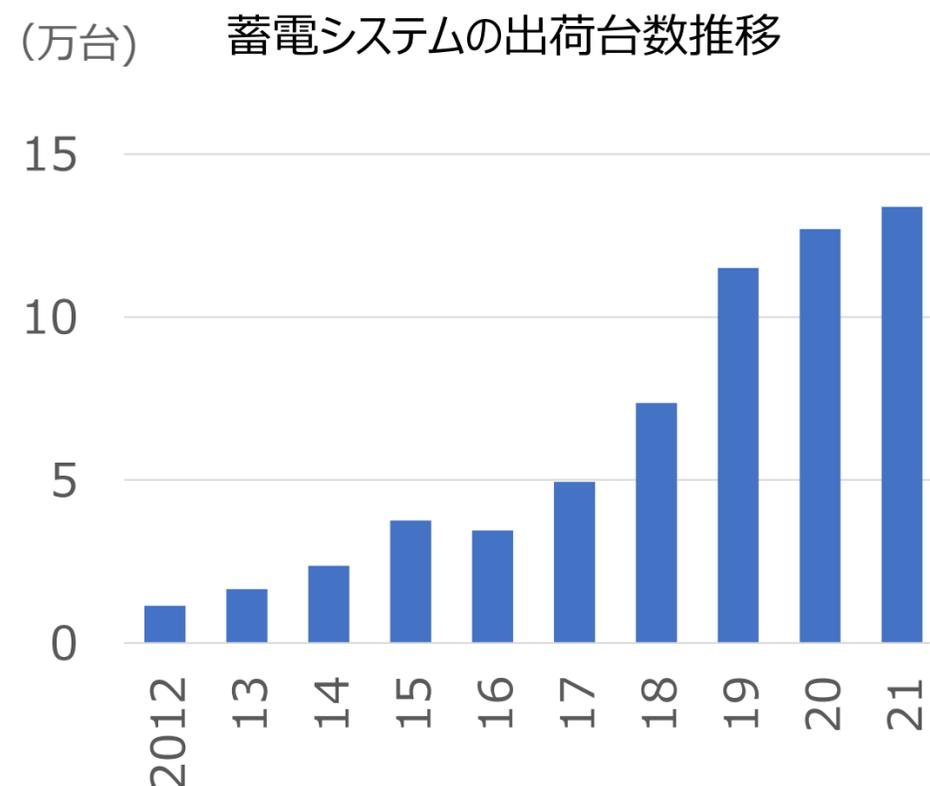
TEPCOホームテックの再エネアセットサービス（エネカリ）の受託が増加。太陽光発電、蓄電池、EV等の普及で更なる成長が見込まれます。

### 太陽光発電



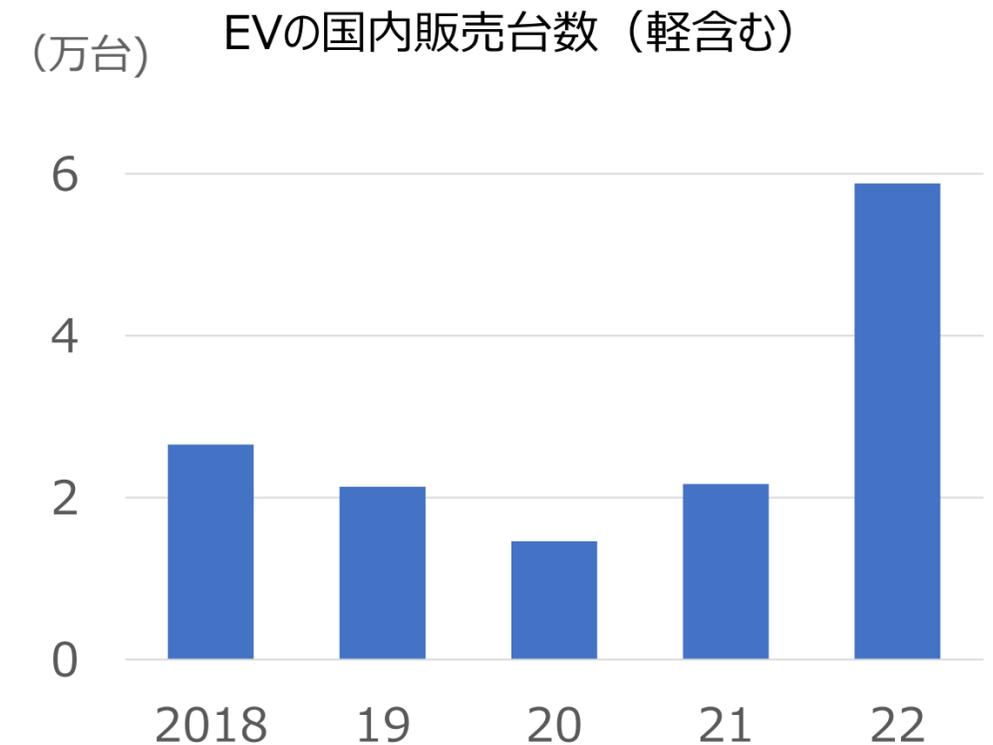
出典：IRENA（国際再生可能エネルギー機関）  
「RENEWABLE CAPACITY STATISTICS 2022」

### 蓄電池



出典：一般社団法人日本電機工業会  
「定置用リチウムイオン蓄電システム自主統計」

### EV



出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、  
全国軽自動車協会連合会公表データより当社作成

## 中国での太陽光発電市場をLESSO & EPCOで開拓

### LESSO 联塑

ブランド・製造技術・販売ネットワークを提供  
再エネ事業を第2のコア事業へ



設計・メンテナンス体制を提供  
中国再エネ事業での運命共同体

太陽光発電所向け  
一気通貫サービス

### LESSO・EPCO合併会社\*

#### LESSO 联塑

製品  
開発

販売

パネル  
製造

物流

工事

IT  
開発

設計

積算

確認  
申請

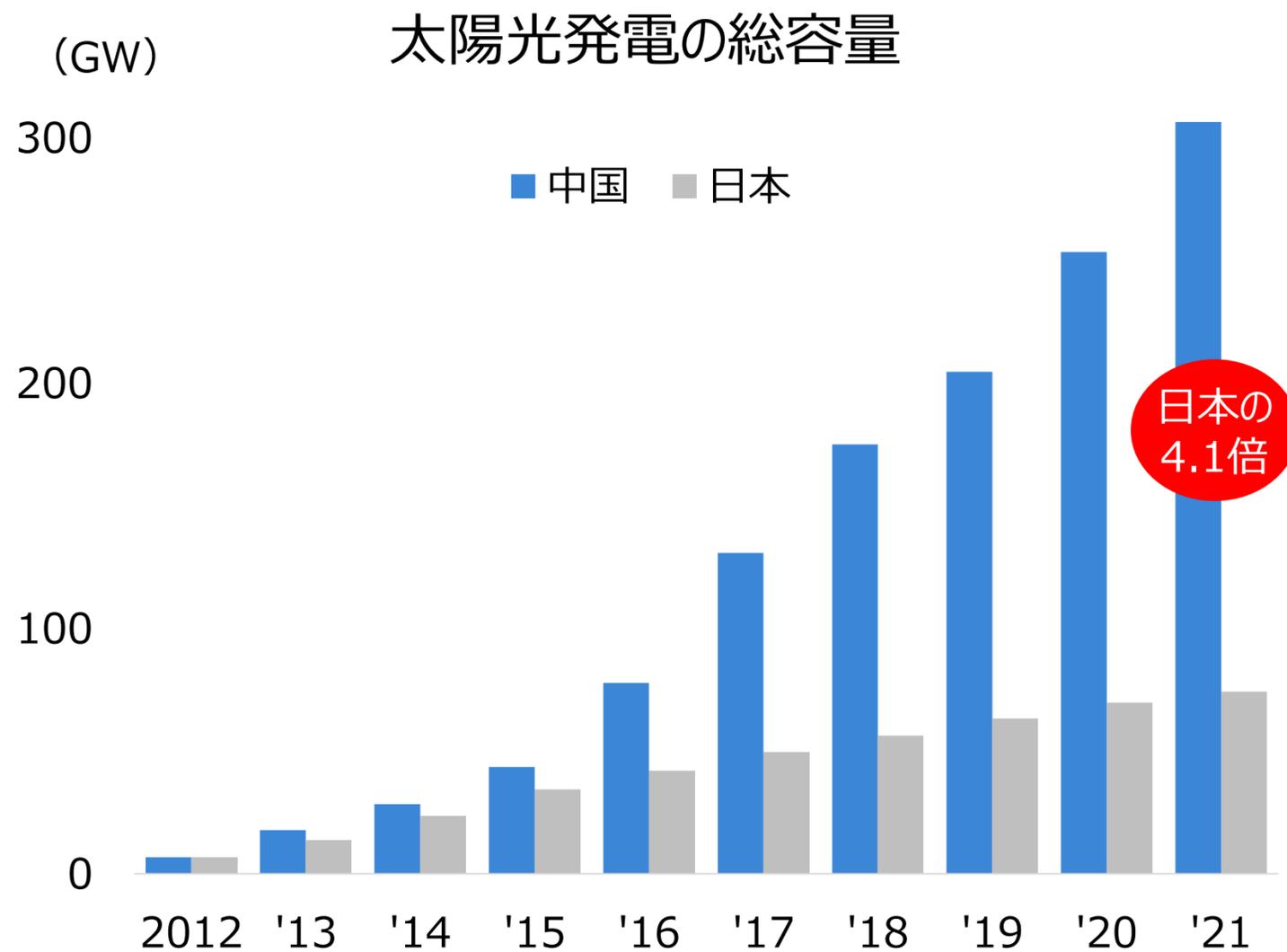
発電  
監視

メンテ  
ナンス

日本での太陽光システム開発と設計ノウハウと活用

\* 新社名：班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司：LESSO50%、EPCO50%

## 世界最大規模である中国の太陽光発電市場での事業展開を目論む



出典：IRENA「RENEWABLE CAPACITY STATISTICS 2022」

### 中国は太陽光発電設備の導入実績で世界最大

中国の太陽光発電設備の累積容量は世界最大(308.5GW)。世界全体の太陽光発電設備容量の約1/3。  
(参照：IEA「Snapshot 2022」)

### 国策として太陽光発電設備の更なる普及を計画

国家目標「3060目標」に基づき、さらなる普及拡大を計画  
2025年の太陽光発電増加量：150GW/年を予想  
(2020年比で3倍)

### LESSO社 太陽光発電市場へ本格参入

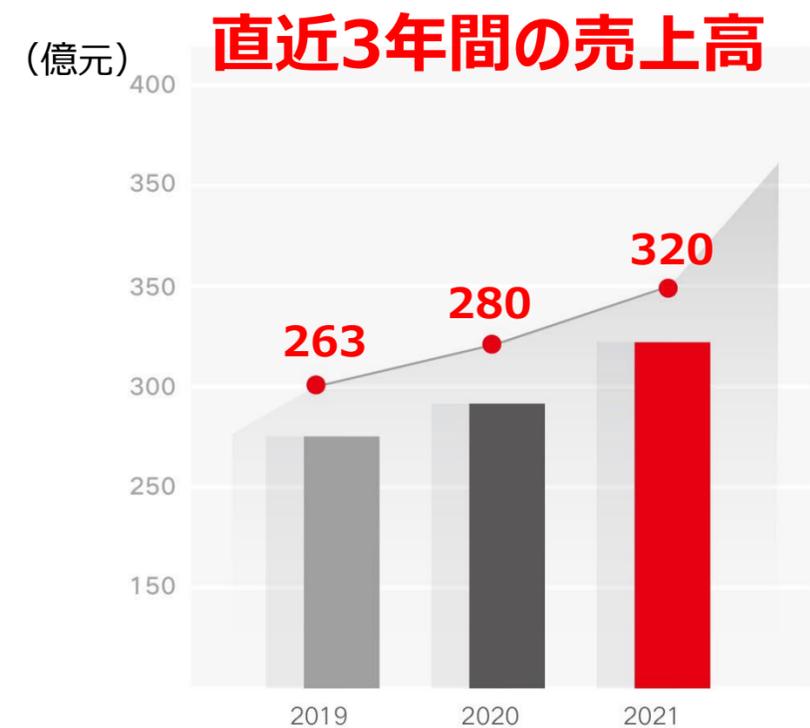
2022年1月、LESSOグループは太陽光発電事業の子会社を設立。  
2023年の太陽光パネル生産能力は7GW/年規模に。

# 中期経営方針 | (参考) LESSO Group 概要

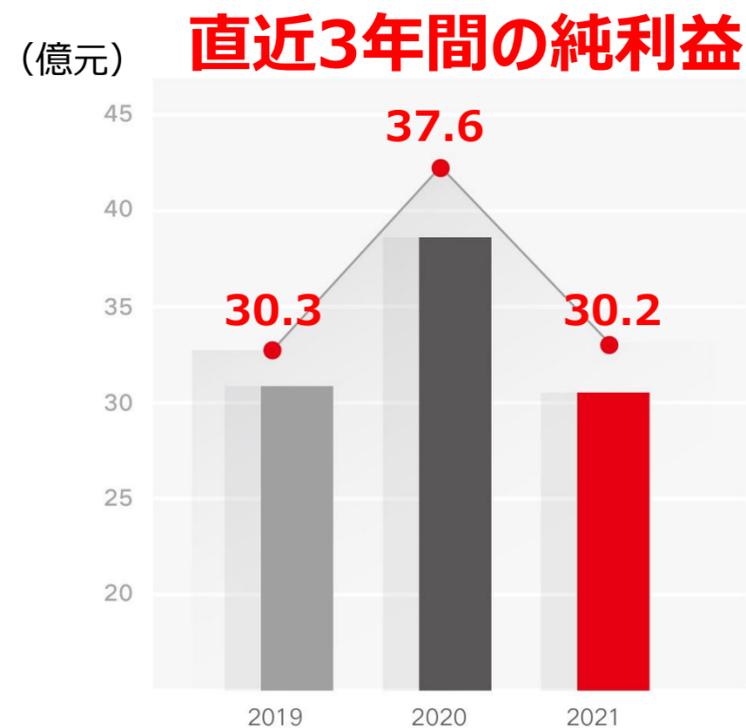
【企業名】 中国聯塑集团控股有限公司 (China Liansu Group Holdings Limited)

【所在地】 中国広東省佛山市

- 【概要】
- ・1986年創業
  - ・中国最大手の樹脂パイプ・継手メーカー：中国500強企業（ランキング375位）
  - ・香港市場上場（証券コード 2128：HK）
  - ・生産工場：中国全土30か所、海外7か所
  - ・販売店網：中国全土で約30,000社



単位: 億元



単位: 億元

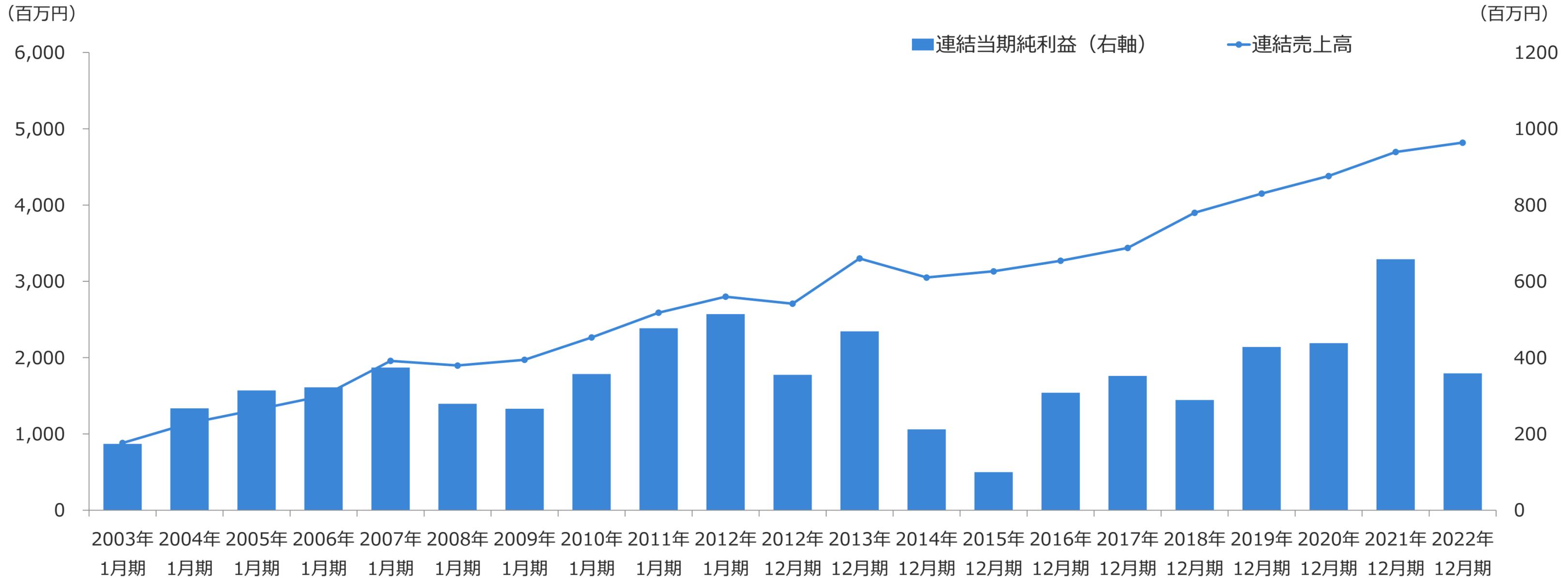
## LESSO本社



# エプコグループのESGの取り組み

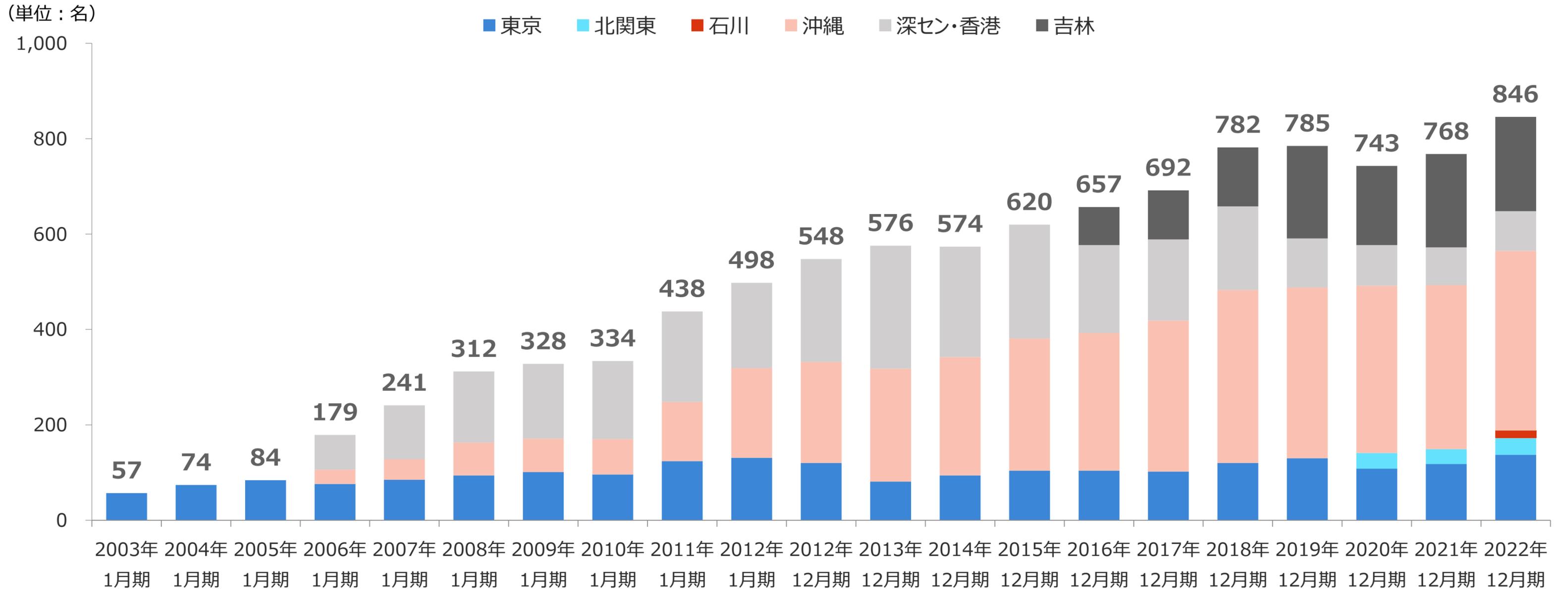
	テーマ	概要	当社の主な取り組み	SDGs
環境 E	事業活動を通じた 環境保全	プレファブ化による産廃削減 BIMによるCO <sub>2</sub> 排出量の見える化	住宅設備の最適設計とプレファブ化により産業廃棄物を削減 BIM設計による建築段階でのCO <sub>2</sub> 排出量の算出	 12 つくる責任 つかう責任
		再エネ機器設置によるCO <sub>2</sub> 削減	太陽光パネルや蓄電池等の再エネ機器設置によるCO <sub>2</sub> の削減 初期費用0円、定額利用サービスによる再エネ機器の普及に貢献	
	環境負荷低減	IT活用による印刷物の削減	ITを活用した設計図面チェック時のペーパーレス化による印刷物の削減	
社会 S	居住者	居住者との関係	住宅全般における様々なトラブルを24時間365日に対応 効率的なメンテナンス手配による迅速な問題解決	 11 住み続けられる まちづくりを
	お客さま	住宅会社等のお客さまとの関係	低コスト、高品質、短納期の実現による顧客満足度の向上	
	株主さま	株主様との関係	適時かつ適切な情報開示 <a href="https://www.epco.co.jp/ir/">https://www.epco.co.jp/ir/</a> 株主との建設的な対話に関する方針 <a href="https://www.epco.co.jp/ir/dialogue.html">https://www.epco.co.jp/ir/dialogue.html</a>	
	従業員	ダイバーシティ推進	エプコグループ従業員において、 女性比率47.1%、外国人従業員比率28.6%（2022年12月末時点）	
安全・健康な職場づくり		健康経営の推進（産業医・外部機関との連携による従業員の健康管理）		
ガバナンス G	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制	監査等委員会設置会社であり、社外取締役比率50%（6名中3名） コーポレートガバナンス報告書 <a href="https://www.epco.co.jp/release/wp-content/uploads/2023/08/corporate_governance.pdf">https://www.epco.co.jp/release/wp-content/uploads/2023/08/corporate_governance.pdf</a>	
	コンプライアンス	コンプライアンス体制	エプコグループ行動規範の制定、従業員向けコンプライアンス教育の実施 内部通報制度の制定	
	セキュリティ	情報セキュリティ管理	情報セキュリティマネジメントシステムの構築（ISO27001認証の取得）	
個人情報保護		個人情報保護マネジメントシステムの構築（プライバシーマークの取得）		

# 連結業績推移



エネルギー事業への  
戦略投資期間

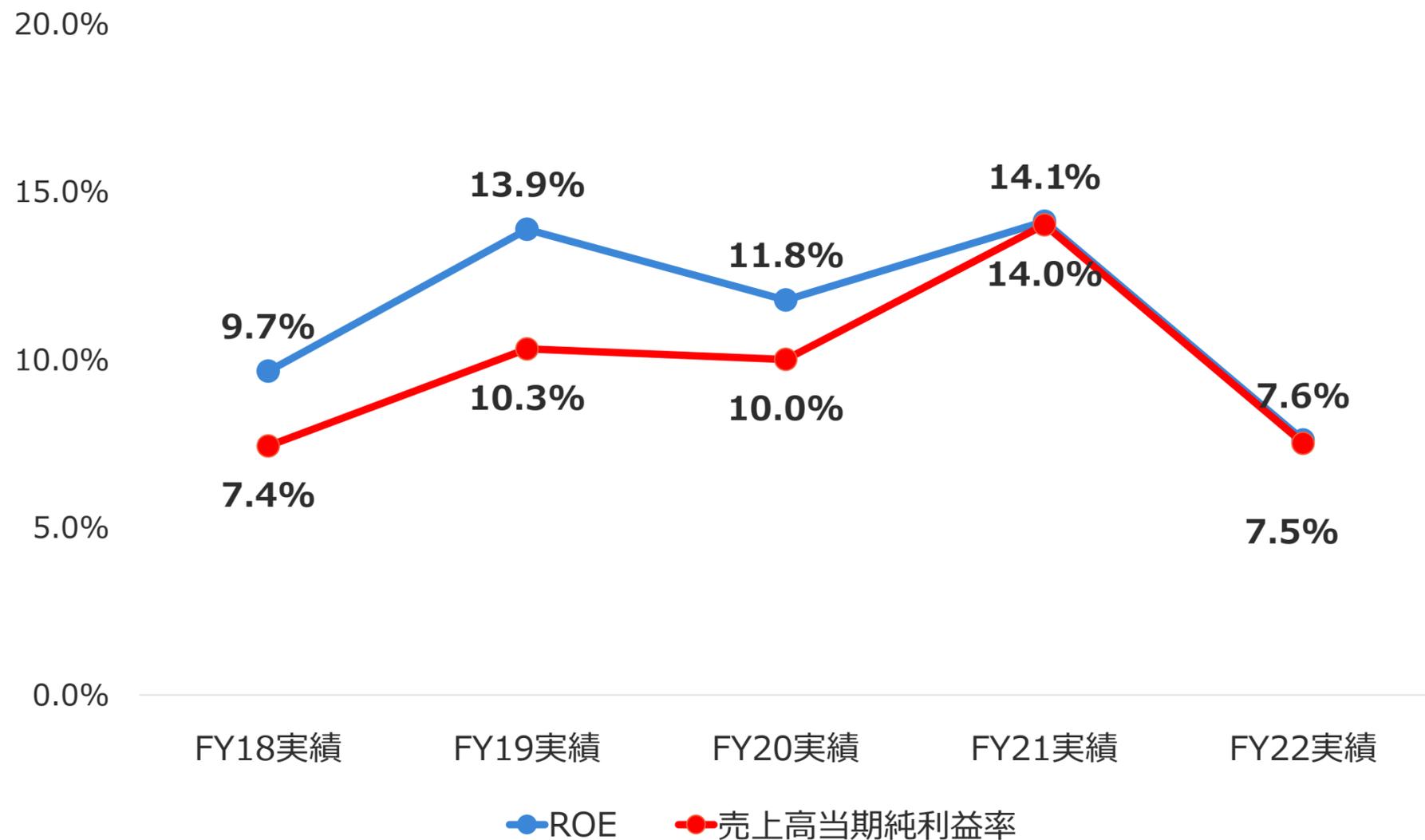
# 連結従業員数 推移



※ 臨時雇用者を含む（臨時雇用者は期中平均従業員数にて集計）

過去5年間のROE（平均）は 11.4% → 利益率向上により、ROEのさらなる向上を目指す

【ROE及び売上高当期純利益率の推移】



## ROEに関する見解

### 【ROEのさらなる向上策】

#### ①中期経営計画の推進による利益率向上

中期経営計画を推進することで各事業部の売上高営業利益率の向上及び持分法投資利益の増加を実現し、売上高当期純利益率の向上を図る。

#### ②余剰資産の適切な管理

事業拡大に応じた積極的な株主還元により、総資産回転率及び財務レバレッジの向上を図る。

# IRスケジュール 2023年（予定）



## 2023年

2月13日（月）	2022年12月期 決算発表	6月29日（木）	権利落日
2月27日（月）	2022年12月期 経営計画説明会（本決算）	8月9日（水）	2023年12月期 第2 四半期決算発表
3月11日（土）	個人投資家向けオンラインセミナー	8月28日（月）	2023年12月期 経営計画説明会（第二四半期）
3月24日（金）	第33回定時株主総会	11月8日（水）	2023年12月期 第3 四半期決算発表
5月11日（木）	2023年12月期 第1 四半期決算発表	12月27日（水）	期末配当 権利取最終売買日
6月28日（水）	第2 四半期配当 権利取最終売買日		



IRサイト

<https://www.epco.co.jp/ir/>



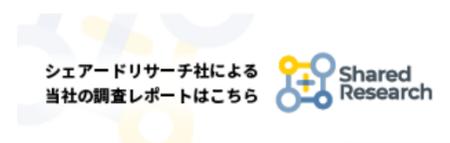
IRメール配信サービス

<https://www.epco.co.jp/ir/mail.html>



ENGLISH (IR)

<https://www.irstreet.com/new/en/brand/index.php?brand=159>



アナリストレポート

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/2311>



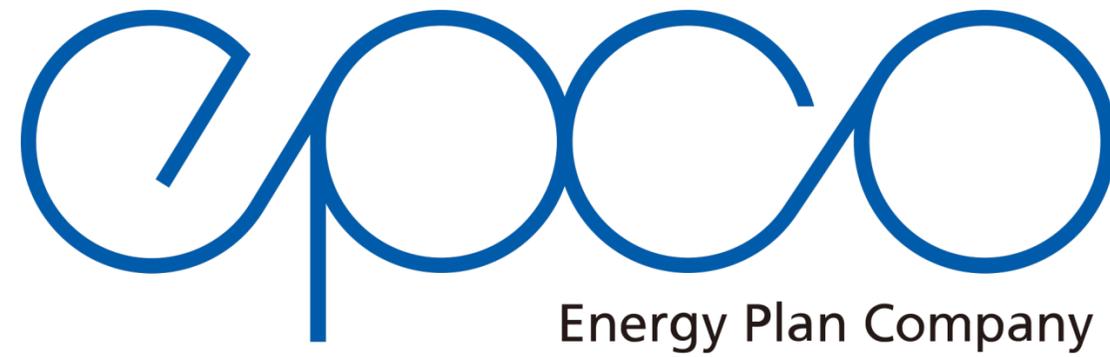
CEOブログ

<https://www.epco.co.jp/aroute/>



お問い合わせ

<https://www.epco.co.jp/contact/contact.php>



**ご注意**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。